

津 市 教 育 委 員 会
点 検 ・ 評 価 報 告 書
(平成 2 3 年度対象)

平成 2 5 年 1 月
津 市 教 育 委 員 会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、
平成23年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
の結果について報告します。

平成25年1月

津市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	平成23年度 教育委員会の点検及び評価について	2
III	平成23年度事務事業一覧・事業評価	5
IV	学識経験者の意見	84
資 料		88
参考1	平成23年度 教育方針	89
参考2	教育委員会の活動状況	93

I はじめに

平成20年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が施行され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

今回の点検評価は、平成23年度に実施した学校教育・教育研究支援・人権教育・生涯学習等における施策事業を対象とし、平成23年度の教育方針に基づき進められた主要な施策事業の取組状況について、自らが点検及び評価を行い、その上での総合評価として学識経験者の意見を付して本報告書を作成しました。

今回の評価や意見を踏まえ、津市教育振興ビジョンに示した「夢をもち、国際社会に生きる自立した元気な人づくり」をめざし、よりよい教育行政を推進してまいります。

< 参考 >

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

意見を求めた学識経験者（五十音順・敬称略）

大田武士（津市通学区域審議会委員、元津市立小学校長）

岡本祐次（津市人権施策審議会委員、元三重短期大学長）

山田康彦（三重大学教育学部教授、津市文化振興審議会会長）

Ⅱ 平成23年度 教育委員会の点検及び評価について

津市教育委員会では、「津市総合計画」における「豊かな文化と心を育むまちづくり」を推進するために、平成20年12月に「津市教育振興ビジョン」を策定し、「夢を持ち、国際社会に生きる自立した元気な人づくり」を基本目標に「生きる力」の連続した育成をめざし、様々な教育施策を実施しております。これらの施策が、より充実したものになるよう、教育方針に沿って重点的に取り組んだ事業について、点検・評価を行いました。

まず、学校施設関係につきましては、法令に基づいた保守点検業務や修繕工事等を実施することで、教育環境の改善及び施設の安全性と耐久性の確保に努めてきました。耐震補強事業につきましては年次計画に基づき、耐震診断の結果により、補強や改築が必要な施設について実施設計を実施し、耐震補強工事や改築工事を進め、平成23年度に耐震化が完了しました。

学校教育分野では、小学校の適正配置につきまして、芸濃地域では、より良い学習環境を提供することを目的に、平成24年4月1日付で椋本小学校、安西小学校、雲林院小学校を統合し、新たに「津市立芸濃小学校」としてスタートすることとなりました。

一志地域におきましては、望ましい教育環境を整えるため、保護者や地域住民へ説明を行い、平成26年4月に小学校4校を2校に再編するという事で合意が得られました。

また、美里地域では、「小学校の在り方を検討する地域懇談会」において、保護者や地域住民の意見を踏まえた上で、今後の小学校の在り方について検討しました。

また、建設を進めておりました中央学校給食センターを平成23年9月に供用開始しました。これに伴い、すべての小中学校において学校給食を実施することができました。市内の小中学校では、全市的に統一した基本献立を基に、地域の特色を取り入れ、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに食育の推進に取り組んでいます。

さらに、感染症対策の充実を図り、学校における感染の予防と拡大防止に努めるなど、児童生徒等及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりを推進しました。

教育内容・学校支援関係では、子どもたちの「学ぶ力」の育成をめざし、主体的な学校づくりを推進するため、学校裁量型の「輝きプロジェクト」事業に

取り組むとともに、地域の特色を生かした学校の教育活動を充実させるため、地域連携による学校支援体制づくりを推進しました。この取組によって、地域の方々がゲストティーチャーとしてさまざまな体験活動を指導していただいたり、学校環境の整備や登下校の見守りなどの支援をしていただいたりしています。これらのことを通じて、子どもたちは自分に自信をもち、将来に夢をもつとともに、自己肯定感や自己有用感が高まった学校が見られます。さらに、各学校の取組を、津市行政情報番組（「まるっと津ガイド」）で全市に広く紹介することで、保護者や地域の方々の学校への関心が一層高まり、地域で子どもを育てていこうとする環境づくりができました。

また、子どもたちの確かな学力の向上を図るため、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善や実践研究を行うとともに、教師の指導力向上についても取組を進めました。

そして、人的な支援につきましては、特別な支援を必要とする子どもたちの支援に係る人的配置や指導方法の工夫等による人的配置を行い、きめ細かな指導や個に応じた指導の充実に努めました。

さらに、学校教育を総合的に支援する「学校サポートセンター」を設置し、学校サポーターによる主体的な学校運営へのコーディネートや生徒指導体制の支援を図りました。

人権教育関係では、「津市人権教育基本方針」を基に、人権を尊重する意識と実践力の向上に努めました。人権学習会や講演会を開催するなど、人権啓発に努めるとともに、人権を尊重していくことを学び、意見を述べ合う機会をつくるため、「中学校区子ども人権フォーラム」や「出会い学習」の充実に努めました。

また、外国人児童生徒の教育を支援するため、三重大学と協働して子どもたちの日本語能力を図るための把握スケールや初期日本語指導カリキュラムを開発し、モデル校での試行・検証を行いました。

生涯学習関係では、平成20年12月に策定した「生涯学習振興計画」の3つの基本目標を実現するため、「学習機会の拡充」「学習情報の収集・提供」「学習活動の支援」「学習施設の整備・充実」の4つの重点施策を着実に進めるよう努めました。

生涯学習活動の拠点となる公民館では、課題講座等の内容の充実に努め、地域づくりの拠点となるよう、さらなる充実に努めます。

青少年健全育成事業では、「津市青少年健全育成推進方針」に基づき、青少年の非行や問題行動について、家庭、地域社会、学校における援助や指導の強化

を図りました。放課後児童クラブについては、運営に対する支援に加えて、障がい児3人以上の受け入れを行ったクラブに対する障がい児加算を追加補助として支援しました。また、安全管理対策として、家具等の転倒防止金具の配付や、公設クラブ4施設、民設クラブ2施設に対してAEDの設置等の補助を行いました。

文化財保護事業については、平成21年度より引き続き、津城跡の石垣測量調査等を実施し、石垣の現況や構造把握に努めました。多気北畠氏遺跡では、上多気六田地区において、学術調査を継続して行い、多気北畠氏遺跡の追加指定に向けた取組を進めました。

図書館につきましては、利用者の様々なニーズに応えられるよう、図書館資料の充実及び統合後の図書館情報システムを活用したサービスの向上に努めました。

また、久居ふるさと文学館の空調設備改修工事を実施するなど、快適な環境づくりも進めることができました。

以上が、平成23年度事業の点検及び評価の概要です。各事業評価の詳細については後節に記載いたしました。

小学校や幼稚園の適正規模による環境整備をはじめ、子どもたちの生きる力の育成や学力向上への授業改善、生涯学習環境の充実や文化財保護の推進など、教育行政における課題は数多くありますが、今後も、市議会や市民の皆様、関係者の方々からご意見、ご提言を頂きながら、これらの課題の解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

津市教育委員会

委員長	中 湖 喬
委員長職務代理者	石 井 雅 子
委員	坪 井 守
委員	松 本 昭 彦
教 育 長	中 野 和 代

III 平成23年度事務事業一覧・事業評価

- 1 教育総務関係 P 7
- 1 8 事業 教育委員会関係事業、事務局管理事業（事務所分含む。）、教育振興事務事業、学校管理運営事業（小学校、事務所分含む。）、教育指導活動支援事業（小学校、事務所分含む。）、学校保健管理事業（小学校）、学校管理運営事業（中学校、事務所分含む。）、教育指導活動支援事業（中学校、事務所分含む。）、学校保健管理事業（中学校）、幼稚園管理運営事業（事務所分含む。）、教育指導活動支援事業（幼稚園、事務所分含む。）、幼稚園保健管理事業、私立幼稚園援助事業、学校施設維持補修事業（小学校）、学校施設耐震補強事業（小学校）、学校施設維持補修事業（中学校）、学校施設耐震補強事業（中学校）、幼稚園施設維持補修事業
- 2 学校教育関係 P 2 5
- 1 8 事業 事務局管理事業、遠距離通学補助事業、学校職員関係事業（小学校）、就学援助事業（小学校）、学校職員関係事業（中学校）、就学援助事業（中学校）、幼稚園職員関係事業、私立幼稚園援助事業、教育指導活動支援事業、健康教育推進事業、給食センター管理運営事業、給食センター建設事業、学校保健管理事業（小学校、事務所分含む。）、学校給食事業（小学校、事務所分含む。）、学校保健管理事業（中学校、事務所分含む。）、学校給食事業（中学校、事務所分含む。）、幼稚園保健事業（事務所分含む。）、幼稚園給食事業（事務所分含む。）
- 3 教育研究支援関係 P 4 3
- 1 5 事業 事務局管理事業、教育振興事務事業、教育総合支援事業、学校図書館いきいき推進事業、教育研究推進事業、元気づくり事業（地域学びの拠点づくり事業）、特別支援教育支援員配置事業、教育研究所管理運営事業、教育支援センター事業、教育指導活動支援事業（小学校）、教育研究推進事業（小学校）、教育指導活動支援事業（中学校）、教育研究推進事業（中学校）、教育研究推進事業（幼稚園）、小学校統合ウォームアップ事業

- 4 人権教育関係 P 5 8
- 7 事業 人権教育関係事業、人権教育推進事業（小学校）、人権教育推進事業（中学校）、人権教育推進事業（幼稚園）、人権教育関係事業（社会教育事業、事務所分含む。）、外国につながる子どもの学習支援及び預かり保育事業、教育集会所管理運営事業（事務所分含む）
- 5 生涯学習関係 P 6 5
- 17 事業 社会教育関係事業、生涯学習振興事業（事務所分含む。）、子ども読書活動推進事業、放課後児童健全育成事業、青少年対策事業（事務所分含む。）、青少年センター管理運営事業、成人式関係事業、公民館管理運営事業（事務所分含む。）、公民館講座等関係事業（事務所分含む。）、文化財保護活用事業、文化財保護管理事業、埋蔵文化財保護活用事業（単独）、埋蔵文化財保護活用事業（補助）、埋蔵文化財センター管理運営事業（事務所分含む。）、埋蔵文化財緊急発掘調査事業、資料館等管理運営事業（事務所分含む。）、文化財調査推進事業
- 6 図書館関係 P 8 2
- 2 事業 図書館管理運営事業、図書館活動事業

計 7 7 事業

平成23年度 事業評価

事業名	教育委員会関係事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育委員会費
			中事業 教育委員会関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	教育委員会を定期的、臨時的に開催し、議案審議をはじめ、諸情勢の変化を踏まえた教育施策の協議などを行い、教育行政の推進を図ります。事業費は、教育委員会の活動に係る諸経費で、教育委員の報酬・旅費及び教育委員会に関わる団体の負担金などです。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	5,040	5,299	5,081	5,293
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	5,040	5,299	5,081	—
	決算額	4,798	5,198	4,849	—
前年度比較による 事業費の増減理由		隔年で実施する教育委員による行政視察旅費の計上による減	隔年で実施する教育委員による行政視察旅費の計上による増	隔年で実施する教育委員による行政視察旅費の計上による減	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		円滑な委員会の開催	円滑な委員会の開催	円滑な委員会の開催	円滑な委員会の開催
指標設定の考え方	平成21年度～	定例的な委員会開催は毎月1回、必要に応じて臨時的に開催し、議案を審議することで、円滑に教育委員会を進めます。			
数値目標	目標値（単位）	12 回	12 回	12 回	12 回
	実績値（単位）	13 回	17 回	17 回	—
指標に対する実績		定例的な委員会及び臨時的な委員会を円滑に開催し、議案審議を適切に行うことができました。	定例的な委員会及び臨時的な委員会を円滑に開催し、議案審議を適切に行うことができました。	定例的な委員会及び臨時的な委員会を円滑に開催し、議案審議を適切に行うことができました。	—

5 推進状況

教育委員会会議を定例的に開催するとともに、突発的な事案に対しては随時、臨時会を開催することにより、円滑な課題解決を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	事務局管理事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 事務局費
			中事業 事務局管理事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	職員共済費、臨時職員賃金、事務局（所）運営に係る需用費や役務費など、教育委員会事務局の事務全般を円滑に行うための経費を執行しており、適正な執行管理を基本に効果的かつ効率的な管理運営に努めています。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	132,455	137,830	154,484	165,293
	補正予算額（流用額）	8,967 (0)	3,393 (▲45)	▲2,900 (▲630)	—
	補正（流用）後予算額	141,422	141,178	150,954	—
	決算額	131,226	138,196	146,833	—
前年度比較による 事業費の増減理由		訴訟案件解決に伴う 弁護士委託料及び賠償 金の増 社会保険料率の見 直しに伴う増	社会保険料率の見 直しに伴う増	社会保険料率の見 直しに伴う増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育委員会事務局の 事務経費の効率的執 行	教育委員会事務局の 事務経費の効率的執 行	教育委員会事務局の 事務経費の効率的執 行	教育委員会事務局の 事務経費の効率的執 行
指標設定 の考え方	平成21年度～	教育委員会事務局の事務経費について、円滑な運営を確保しつつ効率的な執行を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		事務用消耗品を極力 控え、経費削減に努 めました。	事務用消耗品を極力 控え、適正に経費を 執行する事に努めま した。	事務用消耗品を極力 控え、適正に経費を 執行する事に努めま した。	—

5 推進状況

教育委員会事務局の事務経費の適正な執行管理及び効率的な運用を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育振興事務事業（教育総務課）	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 教育振興事務事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	私立高等学校等の教育条件の維持・向上を図り、学校の経営安定に資するため私学振興補助を行います。また、本市の各学校を結ぶ津市学校教育ネットワークについて、情報セキュリティの確保を図るとともに、教育活動への利活用や教職員の校務の円滑化を支援できるよう、同ネットワークの安定的な利用環境の確保を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	23,071	31,402	32,932	32,025
	補正予算額（流用額）	0 (0)	▲ 310 (0)	▲ 336 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	23,071	31,092	32,596	— —
	決算額	22,421	30,696	32,121	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		津市学校教育ネットワークを構築・運用による増	津市学校教育ネットワークの運用・管理による増	津市学校教育ネットワークの運用・管理による増	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		津市学校教育ネットワークの安定した利用環境の提供	津市学校教育ネットワークの安定した利用環境の提供	津市学校教育ネットワークの安定した利用環境の提供	津市学校教育ネットワークの安定した利用環境の提供
指標設定 の考え方	平成21年度～	私学振興補助金については、平成20年度に交付対象及び交付基準額の見直しを行いました。当該補助金の趣旨、目的を踏まえ、教育環境の変化に対応した補助事業の適正な執行を図ります。 平成21年度に構築した津市学校教育ネットワークの利用環境を随時点検し、セキュリティ対策等安定した利用環境の確保を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		前年度の見直しを踏まえ、効果的な補助事業を継続	効果的な補助事業を継続して行うことができました。セキュリティの確保を図り、津市学校教育ネットワークの安定した利用環境を確保することができました。	効果的な補助事業を継続して行うことができました。セキュリティの確保を図り、津市学校教育ネットワーク用ファールサーバを購入し、より安定した利用環境を確保することができました。	— —

5 推進状況

私学振興補助事業を通じ、本市に在住する生徒の教育環境の充実を引き続き推進します。また、津市学校教育ネットワークの運営・管理については、情報セキュリティの強化等を図り、ネットワークの安定した利用環境を確保することができました。引き続き、安定した運用が確保できるように努めます。

平成23年度 事業評価

事業名	学校管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	小学校費
			目	学校管理費
			中事業	学校管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	小学校における教育の機会均等を保障し、教育水準の維持向上を図ることを基本に、教育環境の充実をめざすとともに、学校の円滑な管理運営に努めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	587,034	587,132	588,588	700,334
	補正予算額（流用額）	457,378 (0)	▲ 26,980 (0)	32,599 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	1,044,410	560,152	621,187	— —
	決算額	1,026,860	544,406	559,479	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		地上デジタル放送への対応及び教育活用に資する大型デジタルテレビの導入による増 緊急地震速報装置の導入による増 学校図書館図書の実による増	デジタルテレビ、緊急地震速報装置等に係る備品購入費・委託料の減 公有財産購入費の減	賃金の増 原油価格の高騰に伴う光熱水費（電気料金）の増	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育活動が円滑かつ効率的に展開できる学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる学校管理の実施
指標設定の考え方	平成21年度～	教育活動が円滑に展開できる学校管理経費の確保を基本に置きつつ、内部事務経費の縮減など効率的な執行を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		電気及び水道使用料など、経常的経費の削減に取り組む、一定の効果を得ることができました。 国の経済対策等を活用し、教育環境の充実を図ることができました。	光熱水費の削減に取り組む、経費を削減することができました。	光熱水費の削減に取り組む、経費を削減することができました。	— —

5 推進状況

小学校における教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な学校の管理運営を行うことができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	小学校費
			目	教育振興費
			中事業	教育指導活動支援事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	小学校における教科指導、郊外活動等を支援するため、児童の学力向上及び体験学習の推進に資するための環境整備を推進します。 小学校の情報化及び教職員の校務を支援するため、ICT機器の利活用を促進するとともに、校内LAN実践事業におけるパソコンの配備、教育用コンピュータ及び教職員用コンピュータの機器更新を計画的に推進します。 安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度も考慮した学校の校庭遊具及び屋外体育備品の更新・整備を行います。 図書充実事業により、学校図書館図書の整備・充実を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	191,469	259,163	330,237	299,339
	補正予算額（流用額）	87,404 (0)	▲ 5,416 (0)	▲ 2,661 (0)	—
	補正（流用）後予算額	278,873	253,747	327,576	—
	決算額	276,430	244,686	322,712	—
前年度比較による事業費の増減理由		教職員用コンピュータの購入による増 理科教育用備品の購入の増 校庭遊具及び屋外体育備品の更新・整備による増	教職員用コンピュータ購入費の減	教材用備品の購入による増 理科教育用備品の購入の増 校庭遊具及び屋外体育備品の更新・整備による増 特別支援学級用備品の購入による増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教科指導、学力向上に資する教育環境の充実	教科指導、学力向上に資する教育環境の充実	教科指導、学力向上に資する教育環境の充実	教科指導、学力向上に資する教育環境の充実
指標設定の考え方	平成21年度～	教科指導、校内活動等を支援するため、児童の学力向上及び体験学習の推進に資するための環境整備を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		国の経済対策等を活用し、教育環境の充実を図ることができました。	教育活動のための備品等の整備により、教育環境の充実を図ることができました。	教育活動のための備品等の整備により、教育環境の充実を図ることができました。	—

5 推進状況

児童の学力向上や学習の推進に資する環境整備として、学校の事業運営に要する消耗品、備品等の購入及び教育用コンピュータの更新を行い、効果的に活用することで教科指導の一層の充実を図ることができました。校庭遊具及び屋外体育備品を更新することにより、安全で安心な教育環境の整備を行うことができました。また、学校図書館図書の充実により、児童の読書機会を確保し読書意欲の向上を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校保健管理事業	予算科目	款	教育費
			項	小学校費
			目	学校管理費
			中事業	学校保健管理事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健法に基づき学校医、学校歯科医、学校薬剤師を任命し、児童の身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	51,883	51,624	49,817	――
	補正予算額（流用額）	0 (0)	▲ 1,948 (0)	▲ 460 (0)	――
	補正（流用）後予算額	51,883	49,676	49,357	――
	決算額	50,217	49,424	49,325	――
前年度比較による 事業費の増減理由		児童数等の増減に伴う増減	児童数等の増減に伴う増減	児童数等の増減に伴う増減	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		児童の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	児童の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	児童の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	――
指標設定の考え方	平成21年度～	学校保健法に基づき学校医、学校歯科医、学校薬剤師を任命し、児童の健康増進を図り、安心安全な学校づくりの推進につなげます。			
数値目標	目標値（単位）	――	――	――	――
	実績値（単位）	――	――	――	――
指標に対する実績		学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、児童の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、児童の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、児童の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	――

5 推進状況

学校保健法に基づき、児童の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。 学校教育課の事業に移行し、事務効率を図ります。
--

平成23年度 事業評価

事業名	学校管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	中学校における教育の機会均等を保障し、教育水準の維持向上を図ることを基本に、教育環境の充実をめざすとともに、学校の円滑な管理運営に努めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	250,546	242,066	247,667	250,463
	補正予算額（流用額）	149,433 (0)	▲ 3,460 (0)	18,227 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	399,979	238,606	265,894	— —
	決算額	387,137	227,099	234,636	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		地上デジタル放送への対応及び教育活用に資する大型デジタルテレビの導入による増 緊急地震速報装置の導入による増 学校図書館図書の実による増	デジタルテレビ、緊急地震速報装置等に係る備品購入費・委託料の減 公有財産購入費の減	原油価格の高騰に伴う光熱水費（電気料金）の増	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育活動が円滑かつ効率的に展開できる適切な学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる適切な学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる適切な学校管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる適切な学校管理の実施
指標設定の考え方	平成21年度～	教育活動が円滑に展開できる学校管理経費の確保を基本に置きつつ、内部事務経費の削減など効率的な執行を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		電気及び水道使用料など、経常的経費の削減に取り組み、一定の効果を得ることができました。 国の経済対策等を活用し、教育環境の充実を図ることができました。	事務経費の削減に努めました。	内部事務経費の削減に努めた一方、原油価格の高騰により光熱水費が大幅増となりました。	— —

5 推進状況

中学校における教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な学校の管理運営を行うことができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	中学校費
			目	教育振興費
			中事業	教育指導活動支援事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	中学校における教科指導、校外活動等を支援するため、生徒の学力向上及び体験学習の推進に資するための環境整備を推進します。 中学校の情報化及び教職員の校務を支援するため、ICT機器の利活用を促進するとともに、校内LAN実践事業におけるパソコンの配備及び活用、教育用コンピュータ及び教職員用コンピュータの機器更新を計画的に推進します。 安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度にも考慮した学校の屋外体育備品の更新・整備を行います。 図書充実事業により、学校図書館図書の整備・充実を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	140,903	158,473	173,160	171,847
	補正予算額（流用額）	39,533 (0)	▲ 408 (0)	▲ 3,511 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	180,436	158,065	169,649	— —
	決算額	177,859	153,509	166,937	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		教員用コンピュータの購入による増 理科教育用備品の購入の増 屋外体育備品の更新・整備による増	教員用コンピュータ購入費の減	教材用備品の購入による増 理科教育用備品の購入の増 屋外体育備品の更新・整備による増	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育指導、学力向上に資する教育環境の充実	教育指導、学力向上に資する教育環境の充実	教育指導、学力向上に資する教育環境の充実	教育指導、学力向上に資する教育環境の充実
指標設定の考え方	平成21年度～	教科指導、校外活動等を支援するため、生徒の学力向上及び体験学習の推進に資するための環境整備を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
	実績値（単位）	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
指標に対する実績		国の経済対策等を活用し、教育環境の充実を図ることができました。	教育活動のための備品等の整備により、教育環境の充実を図ることができました。	教育活動のための備品等の整備により、教育環境の充実を図ることができました。	— — — —

5 推進状況

生徒の学力向上や学習の推進に資する環境整備として、学校の事業運営に要する消耗品、備品等の購入及び教育用コンピュータの更新を行い、効果的に活用することで教科指導の一層の充実を図ることができました。屋外体育備品を更新することにより、安全で安心な教育環境の整備を行うことができました。また、学校図書館図書の充実により、生徒の読書機会を確保し読書意欲の向上を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校保健管理事業	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校保健管理事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健法に基づき学校医、学校歯科医、学校薬剤師を任命し、生徒の身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	20,096	19,790	19,818	――
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	――
	補正（流用）後予算額	20,096	19,790	19,818	――
	決算額	19,806	19,610	19,632	――
前年度比較による 事業費の増減理由		生徒数等の増減に伴う増減	生徒数等の増減に伴う増減	生徒数等の増減に伴う増減	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		生徒の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	生徒の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	生徒の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	――
指標設定の考え方	平成21年度～	学校保健法に基づき学校医、学校歯科医、学校薬剤師を任命し、生徒の健康増進を図り、安心安全な学校づくりの推進につなげます。			
数値目標	目標値（単位）	――	――	――	――
	実績値（単位）	――	――	――	――
指標に対する実績		学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、生徒の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、生徒の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、生徒の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	――

5 推進状況

学校保健法に基づき、生徒の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。
学校教育課の事業に移行し、事務効率を図ります。

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 幼稚園管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	幼稚園における教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ることを基本に、教育環境の充実をめざすとともに、幼稚園の円滑な管理運営に努めます。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	219,754	243,551	252,456	270,734
	補正予算額（流用額）	23,170 (0)	▲ 15,000 (0)	8,190 (0)	—
	補正（流用）後予算額	242,924	228,551	260,646	—
	決算額	233,088	222,966	252,116	—
前年度比較による 事業費の増減理由		公有財産の購入による増	公有財産購入費減による	賃金の増 原油価格の高騰に伴う光熱水費（電気料金）の増 備品購入費の増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育活動が円滑かつ効率的に展開できる園管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる園管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる園管理の実施	教育活動が円滑かつ効率的に展開できる園管理の実施
指標設定の考え方	平成21年度～	教育活動が円滑に展開できる園管理経費の確保を基本に置きつつ、内部事務経費の削減など効率的な執行を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		電気及び水道使用料など、経常的経費の削減に取り組み、一定の効果を得ることができました。	経常的経費の削減に取り組み、特に水道使用料については一定の効果上げることができました。	内部事務経費の削減に努めた一方、原油価格の高騰により光熱水費が大幅増となりました。	—

5 推進状況

幼稚園における教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な管理運営を行うことができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 教育指導活動支援事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	幼稚園における指導活動等を支援することにより、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した環境整備を推進します。 安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度も考慮した園庭遊具の更新・整備を行います。 図書充実事業により、幼児用図書の充実を行います。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	24,347	22,756	25,900	10,740
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	24,347	22,756	25,900	—
	決算額	23,809	22,534	25,430	—
前年度比較による 事業費の増減理由		園庭遊具の更新・整備による増 幼児用図書の充実による増	幼児用図書の購入費減による	教育環境充実のための保育用備品購入費の増 園庭遊具の更新・整備による増 幼児用図書の充実による増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育指導活動を支援するための教育環境の充実	教育指導活動を支援するための教育環境の充実	教育指導活動を支援するための教育環境の充実	教育指導活動を支援するための教育環境の充実
指標設定の考え方	平成21年度～	就学前児の心身の発達を支援するため、教育指導活動に必要な保育用備品の購入など教育環境の充実を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		園庭遊具、幼児用図書の充実など、教育環境の充実を図ることができました。	園庭遊具、幼児用図書の充実など、教育環境の充実を図ることができました。	教育指導活動のための備品等の整備と園庭遊具、幼児用図書の充実などにより、教育環境の充実を図ることができました。	—

5 推進状況

幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した環境整備を行ったことにより、教育活動の充実を図ることができました。
 校庭遊具を更新することにより、安全で安心な教育環境の整備を図ることができました。
 幼児用図書の充実により、図書に触れる機会が提供でき、幼児の読書に対する興味・関心を高めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園保健管理事業	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 幼稚園保健管理事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健法に基づき幼稚園医、幼稚園歯科医、幼稚園薬剤師を任命し、幼稚園児の身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	22,552	22,438	22,425	――
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	――
	補正（流用）後予算額	22,552	22,438	22,425	――
	決算額	22,453	22,412	22,395	――
前年度比較による 事業費の増減理由		園児数等の増減に伴う増減	園児数等の増減に伴う増減	園児数等の増減に伴う増減	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		園児の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	園児の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	園児の健康増進と、安心安全な学校づくりの推進	――
指標設定の考え方	平成21年度～	学校保健法に基づき幼稚園医、幼稚園歯科医、幼稚園薬剤師を任命し、園児の健康増進を図り、安心安全な学校づくりの推進につなげます。			
数値目標	目標値（単位）	――	――	――	――
	実績値（単位）	――	――	――	――
指標に対する実績		学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、園児の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、園児の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	学校保健法に基づき各種検診業務を行うことで、園児の健康増進を図り、安心安全な学校づくりを推進することができました。	――

5 推進状況

学校保健法に基づき、園児の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。
学校教育課の事業に移行し、事務効率を図ります。

平成23年度 事業評価

事業名	私立幼稚園援助事業（教育総務課）	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 私立幼稚園援助事業（教育総務課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	私立幼稚園の設置者及び保護者等に対して補助を行うことにより、幼児教育の振興と充実を図るとともに、保護者の負担軽減及び公立、私立幼稚園間の格差是正に努めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	16,548	16,074	15,642	――
	補正予算額（流用額）	▲ 792 (0)	▲ 1,010 (0)	▲ 1,036 (0)	――
	補正（流用）後予算額	15,756	15,064	14,606	――
	決算額	15,692	15,047	14,517	――
前年度比較による 事業費の増減理由		園児数の減による	幼稚園数、園児数の減による	園児数の減による	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		私立幼稚園の教育振興及び保護者の負担軽減	私立幼稚園の教育振興及び保護者の負担軽減	私立幼稚園の教育振興及び保護者の負担軽減	私立幼稚園の教育振興及び保護者の負担軽減
指標設定の考え方	平成21年度～	幼児教育を共に支える私立幼稚園の教育振興とともに、公立・私立の保護者負担の格差縮小を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	――	――	――	――
	実績値（単位）	――	――	――	――
指標に対する実績		教育振興補助金の交付を通じ、園の環境整備を図ることができました。 園児保護者補助金の交付により、保護者の負担軽減を図ることができました。	教育振興補助金の交付を通じ、園の環境整備を図ることができました。 園児保護者補助金の交付により、保護者の負担軽減を図ることができました。	教育振興補助金の交付を通じ、園の環境整備を図ることができました。 園児保護者補助金の交付により、保護者の負担軽減を図ることができました。	――

5 推進状況

私立幼稚園に在園する4・5歳児の保護者及び設置者等に補助金を交付したことにより、保護者の負担軽減及び教育環境の充実を図ることができました。
学校教育課の事業に移行し、事務効率を図ります。

平成23年度 事業評価

事業名	学校施設維持補修事業	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校施設維持補修事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕や補修工事等により、教育環境の改善を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	216,721	235,869	373,404	1,108,249
	補正予算額（流用額）	69,055 (0)	38,454 (0)	52,900 (0)	—
	補正（流用）後予算額	285,776	274,323	426,304	—
	決算額	229,709	260,069	424,688	—
前年度比較による 事業費の増減理由		工事費の減による	工事費の増による	工事費の増による	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業
指標設定の考え方	平成21年度～	目標の達成を100%として達成率を実績としました。			
数値目標	目標値（単位）	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値（単位）	80 %	95 %	100 %	—
指標に対する実績		施設の安全性と耐久性の確保が図られました。 なお、実績値が目標値に達していませんが、事業費を平成22年度へ繰り越したことによるものです。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	—

5 推進状況

学校施設の維持管理を適切に行うことで、教育環境の改善、学校教育の円滑な実施に資するとともに、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校施設耐震補強事業	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 学校建設費
			中事業 学校施設耐震補強事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校建物は、児童の安全を確保する必要があることから、建物の耐震性能を確保し、もって地震防災対策の促進を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	728,227	104,789	230,500	————
	補正予算額(流用額)	▲ 180,000 (0)	24,413 (0)	▲ 57,000 (0)	————
	補正(流用)後予算額	548,227	129,202	173,500	————
	決算額	544,316	129,006	171,786	————
前年度比較による 事業費の増減理由		工事費の増による	工事費の減による	工事費の増による	————

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		学校施設耐震補強事業	学校施設耐震補強事業	学校施設耐震補強事業	————
指標設定 の考え方	平成21年度～	耐震化計画による耐震化率を目標値としました。			
数値目標	目標値(単位)	90 %	95 %	100 %	————
	実績値(単位)	93 %	97 %	100 %	————
指標に対する実績		当該年度の目標を達成しています。引き続き、事業を展開していく必要があります。	当該年度の目標を達成しています。引き続き、事業を展開していく必要があります。	当該年度の目標を達成しています。事業完了。	————

5 推進状況

学校施設の耐震化が完了し、地震防災対策の促進を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校施設維持補修事業	予算科目	款	教育費
			項	中学校費
			目	学校管理費
			中事業	学校施設維持補修事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕や補修工事等により、教育環境の改善を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	143,124	393,137	142,938	543,558
	補正予算額(流用額)	57,166 (0)	▲ 22,322 (0)	23,800 (0)	—
	補正(流用)後予算額	200,290	370,815	166,738	—
	決算額	150,769	362,761	165,723	—
前年度比較による 事業費の増減理由		給食受入施設改修工事に伴う設計業務等委託料、及び工事費の増による	給食受入施設改修工事に伴う工事費の増による	給食受入施設改修工事に伴う工事費の減による	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業	学校施設維持補修事業
指標設定の考え方	平成21年度～	目標の達成を100%として達成率を実績としました。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	75 %	98 %	99 %	—
指標に対する実績		施設の安全性と耐久性の確保が図られました。 なお、実績値が目標値に達していませんが、事業費を平成22年度へ繰り越したことによるものです。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	—

5 推進状況

学校施設の維持管理を適切に行うことで、教育環境の改善、学校教育の円滑な実施に資するとともに、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校施設耐震補強事業	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 学校建設費
			中事業 学校施設耐震補強事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校建物は、児童の安全を確保する必要があることから、建物の耐震性を確保し、もって地震防災対策の促進を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	137,784	254,196	821,100	————
	補正予算額(流用額)	▲ 41,527 (0)	▲ 75,806 (0)	▲ 179,000 (0)	————
	補正(流用)後予算額	96,257	178,390	642,100	————
	決算額	94,676	178,359	178,359	————
前年度比較による 事業費の増減理由		工事費の増による	工事費の増による	工事費の増による	————

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		学校施設耐震補強事業	学校施設耐震補強事業	学校施設耐震補強事業	————
指標設定 の考え方	平成21年度～	耐震化計画による耐震化率を目標値としました。			
数値目標	目標値(単位)	90 %	95 %	100 %	————
	実績値(単位)	88 %	93 %	100 %	————
指標に対する実績		当該年度の目標をほぼ達成しています。引き続き、事業を展開していく必要があります。	当該年度の目標をほぼ達成しています。引き続き、事業を展開していく必要があります。	当該年度の目標を達成しています。事業完了。	————

5 推進状況

学校施設の耐震化が完了し、地震防災対策の促進を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園施設維持補修事業	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 幼稚園施設維持補修事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕や補修工事等により、教育環境の改善を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	38,804	40,842	53,637	52,868
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	▲ 1,088 (0)	—
	補正（流用）後予算額	38,804	40,842	52,549	—
	決算額	37,244	39,808	52,381	—
前年度比較による 事業費の増減理由		工事費の増による	工事費の増による	工事費の増による	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		幼稚園施設維持補修事業	幼稚園施設維持補修事業	幼稚園施設維持補修事業	幼稚園施設維持補修事業
指標設定 の考え方	平成21年度～	目標の達成を100%として達成率を実績としました。			
数値目標	目標値（単位）	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値（単位）	96 %	98 %	100 %	—
指標に対する実績		施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	施設の安全性と耐久性の確保が図られました。	—

5 推進状況

教育施設の維持管理を適切に行うことで、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	事務局管理事業（学校教育課）	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 事務局費
			中事業 事務局管理事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	通学区域審議会においては、津市立の小中学校の通学区域の適正を期するため、通学区域の弾力的な運用等について全市的な検討を行います。 学校給食協会は、良質で安全な学校給食用物資の供給に努めるため、学校給食に要する物資の調達に関する事業等を行います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	13,139	13,714	16,609	17,589
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (46)	▲ 212 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	13,139	13,760	16,397	— —
	決算額	12,554	13,456	15,515	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		事務費全体の減少による	事務用消耗品費（給与システムプリンター関連）購入による事務費の増 外国人向け通知・案内等作成のための翻訳手数料の支出による増	9月の津市中央学校給食センター供用開始による支出（保存食代）の増加	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		通学区域の弾力的運用 良質で安全な給食用物資の供給	通学区域の弾力的運用 良質で安全な給食用物資の供給	通学区域の弾力的運用 良質で安全な給食用物資の供給	通学区域の弾力的運用 良質で安全な給食用物資の供給
指標設定 の考え方	平成21年度～	津市立の小中学校の通学区域の適正を期するため、通学区域の弾力的な運用等について全市的な検討を行います。良質で安全な学校給食用物資の供給のための事業を行います。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		通学区域の弾力化について審議を行い、今後の取り組みの方向性を導くことができました。 安心安全な学校給食を実施することができました。	通学区域の弾力化について審議を行い、今後の取り組みの方向性を導くことができました。 安心安全な学校給食を実施することができました。	安心安全な学校給食を実施することができました。	— —

5 推進状況

学校給食協会においては、良質で安全な物資の供給を行うことができました。

平成23年度 事業評価

事業名	遠距離通学補助事業	予算科目	款	教育費
			項	教育総務費
			目	教育振興費
			中事業	通学通園対策事業（久居事務所）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	旧村合併や学校統廃合により、通学が遠距離となった児童生徒の保護者に対し、通学費用（バス定期代・自転車購入費用等）について補助金を交付し、保護者の経済的負担を軽減します。学校・園の統廃合により遠距離となった児童生徒園児（美杉、白山、美里、芸濃地域）に対し、スクールバス等により児童送迎等を実施し、通学通園の安全確保及び保護者負担軽減を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	34,626	23,359	65,264	61,285
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	▲ 4,170 (0)	—
	補正（流用）後予算額	34,626	23,359	61,094	—
	決算額	32,738	21,895	60,290	—
前年度比較による 事業費の増減理由		遠距離通学費補助金 支給対象者数減による減額 H20に引き続き、 スクールバス1台購入	遠距離通学費補助金 対象者数減による減額 前年度には、スクー ルバスの購入があっ たため	芸濃事務所にてス クールバス購入によ り、事業費増加	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		通学通園の安全確保 保護者の負担軽減	通学通園の安全確保 保護者の負担軽減	通学通園の安全確保 保護者の負担軽減	通学通園の安全確保 保護者の負担軽減
指標設定 の考え方	平成21年度～	学校統廃合等により、通学距離が遠距離となった児童、生徒、園児の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図っていきます。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		通学距離が遠距離となった児童・生徒の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができました。	通学距離が遠距離となった児童・生徒の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができました。	通学距離が遠距離となった児童・生徒の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができました。	—

5 推進状況

学校統廃合等により、通学距離が遠距離となった児童、生徒、園児の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校職員関係事業	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校職員関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	校外活動、修学旅行に係る費用で、県費旅費の対象とならない経費（施設見学科・企画料など）について補助金を支給することにより、引率事業を円滑に実施できるようにします。又校外活動、修学旅行中において緊急対応が必要になった時、職員を派遣する場合の旅費についても支給します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	792	630	605	585
	補正予算額（流用額）	▲ 200 (0)	▲ 170 (0)	0 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	592	460	605	— —
	決算額	516	419	413	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		前年度並みの執行	修学旅行、校外活動等の行き先違いによる対象経費の減	前年度並みの執行	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進
指標設定の考え方	平成21年度～	校外活動、修学旅行に係る費用で、県費旅費の対象とならない経費についての補助金を支給します。緊急対応が必要になった時、職員を派遣する場合の旅費についても支給します。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		補助対象経費の検討	補助対象経費の検討	補助対象経費の検討	— —

5 推進状況

修学旅行・校外活動の引率に係る費用で、施設見学科などについて補助金を支給したことにより、安全で効果的な引率事業が可能となり、各学校が様々な活動を行うことで児童の体験学習に役立てることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	就学援助事業	予算科目	款 教育費 項 小学校費 目 教育振興費 中事業 就学援助事業
-----	--------	------	--

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	義務教育に必要な経費の負担が困難な児童の保護者や特別支援教育を受ける児童の保護者に対し、学校教育法(昭和22年法律第26号)第19条等の規定に基づき、教育にかかる費用(給食費等)について必要な援助を行い、児童の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	87,308	87,077	88,431	98,951
	補正予算額(流用額)	4,644 (0)	6,966 (0)	7,739 (0)	—
	補正(流用)後予算額	91,952	94,043	96,170	—
	決算額	91,325	92,370	93,894	—
前年度比較による 事業費の増減理由		支給対象者の増加により事業費が増加	支給対象者の増加により事業費が増加	支給対象者の増加により事業費が増加	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進
指標設定の考え方	平成21年度～	義務教育に必要な経費の負担が困難な児童の保護者や特別支援教育を受ける児童の保護者に対し、教育にかかる費用について必要な援助を行い、児童の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図ります。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	—	—
	実績値(単位)	—	—	—	—
指標に対する実績		保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	—

5 推進状況

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者や特別支援教育を受ける児童の保護者に対し、学校で必要な費用の援助を行うことにより、保護者の経済的負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校職員関係事業	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校職員関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	校外活動、修学旅行に係る費用で、県費旅費の対象とならない経費（施設見学科・企画料など）について補助金を支給することにより、引率事業を円滑に実施できるようにします。又校外活動、修学旅行中において緊急対応が必要になった時、職員を派遣する場合の旅費についても支給します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	1,630	1,626	1,602	1,487
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	1,630	1,626	1,602	—
	決算額	1,462	1,571	1,427	—
前年度比較による 事業費の増減理由		前年度並みの執行	修学旅行、校外活動等の行き先の違いによる対象経費の増	修学旅行、校外活動等の行き先の違いによる対象経費の減	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進	安全で効果的な引率事業の推進
指標設定の考え方	平成21年度～	校外活動、修学旅行に係る費用で、県費旅費の対象とならない経費についての補助金を支給します。緊急対応が必要になった時、職員を派遣する場合の旅費についても支給します。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		補助対象経費の検証	補助対象経費の検証	補助対象経費の検証	—

5 推進状況

修学旅行・校外活動の引率に係る費用で、施設見学科などについて補助金を支給したことにより、安全で効果的な引率事業が可能となり、各学校が様々な活動を行うことで生徒の体験学習に役立てることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	就学援助事業	予算科目	款	教育費
			項	中学校費
			目	教育振興費
			中事業	就学援助事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	義務教育に必要な経費の負担が困難な生徒の保護者や特別支援教育を受ける生徒の保護者に対し、学校教育法(昭和22年法律第26号)第19条等の規定に基づき、教育にかかる費用(学用品費等)について必要な援助を行い、生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	51,818	55,779	75,777	93,453
	補正予算額(流用額)	4,895 (0)	4,352 (0)	6,207 (0)	—
	補正(流用)後予算額	56,713	60,131	81,984	—
	決算額	56,440	59,439	78,277	—
前年度比較による 事業費の増減理由		支給対象者の増加により事業費が増加	支給対象者の増加により事業費が増加	津市中央学校給食センター供用開始に伴う中学校給食の実施により事業費が増加	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進	教育機会の均等と義務教育の円滑な実施の推進
指標設定 の考え方	平成21年度～	義務教育に必要な経費の負担が困難な生徒の保護者や特別支援教育を受ける生徒の保護者に対し、教育にかかる必要な援助を行い、生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図ります。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	—	—
	実績値(単位)	—	—	—	—
指標に対する実績		保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	保護者の経済的な負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。	—

5 推進状況

経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者や特別支援教育を受ける生徒の保護者に対し、学校で必要な費用の援助を行うことにより、保護者の経済的負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園職員関係事業	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 幼稚園職員関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	幼児教育の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	幼稚園教員に対し園長会や、研修等に伴う旅費及び使用料を支給するとともに、養護教員が配置されていない園の園児の定期健康診断、応急処置、健康相談活動等を行う目的で支援園への旅費及び使用料の支給を行い、幼稚園教員の資質向上や園の円滑な運営を進めることを目的とします。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	3,962	3,513	3,296	1,807
	補正予算額（流用額）	▲ 1,250 (0)	▲ 749 (0)	▲ 1,880 (0)	—
	補正（流用）後予算額	2,712	2,764	1,416	—
	決算額	2,509	2,522	1,061	—
前年度比較による事業費の増減理由		研修等の減少による事業費の減少	研修等の増加による事業費の増加	公用車の配置されていない職場の自家用自動車の公用使用が認められたことによる事業費の減少	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		幼稚園教員の資質向上 園の円滑な運営	幼稚園教員の資質向上 園の円滑な運営	幼稚園教員の資質向上 園の円滑な運営	幼稚園教員の資質向上 園の円滑な運営
指標設定 の考え方	平成21年度～	幼稚園教員に対し研修等に伴う旅費及び使用料を支給するとともに、養護教員が配置されていない園の園児の定期健康診断、応急処置、健康相談活動等を行う目的で支援園への旅費及び使用料の支給を行い、幼稚園教員の資質向上や園の円滑な運営を進めます。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		有効な予算執行ができるよう検討します。	有効な予算執行ができるよう検討します。	有効な予算執行ができるよう検討します。	—

5 推進状況

研修会等への積極的な参加が可能となり、幼稚園教諭の資質向上を図り、園の円滑な経営につなげることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	私立幼稚園援助事業（学校教育課）	予算科目	款 教育費 項 幼稚園費 目 幼稚園費 中事業 私立幼稚園就園奨励事業（学校教育課）
-----	------------------	------	---

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	家庭教育支援の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	私立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、市民税の額及び幼稚園に通っている園児の人数等に応じ、入園料及び保育料を対象とした補助を行うことにより、家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	86,099	95,531	103,095	97,680
	補正予算額（流用額）	11,097 (0)	8,499 (0)	▲ 4,600 (0)	—
	補正（流用）後予算額	97,196	104,030	98,495	—
	決算額	95,220	102,115	97,853	—
前年度比較による 事業費の増減理由		補助金額の一人あたり単価が増額となったため、事業費が増加	補助金額の一人あたり単価が増額となったため、支給対象園児数が増加したため。	私立幼稚園の園児総数が減少したため	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正と負担軽減	公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正と負担軽減	公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正と負担軽減	公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正と負担軽減
指標設定の考え方	平成21年度～	公・私立の幼稚園に就園している園児の保護者に対し補助を行うことにより、経済的負担の軽減、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		保育料等に係る補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができました。	保育料等に係る補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができました。	保育料等に係る補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができました。	—

5 推進状況

公・私立の幼稚園に就園している園児の保護者に対し、保育料等に係る補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業（学校教育課）	予算科目	款	教育費
			項	教育総務費
			目	事務局費
			中事業	事務局管理事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	芸濃地域の3小学校が閉校するにあたり、記念誌の発行や記念行事を実施することにより、地域のコミュニティの核としての役割を担ってきた学校が地域の記憶に留まるよう、また、芸濃小学校の開校にあたっては、新たな学校生活をスタートする児童の意欲の向上につながるよう推進します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	—	—	8,777	—
	補正予算額（流用額）	—	—	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	—	—	8,777	—
	決算額	—	—	8,681	—
前年度比較による 事業費の増減理由		—	—	新規事業であるため	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		—	—	閉校記念事業の実施	—
指標設定 の考え方	平成23年度～	芸濃地域3小学校の閉校にあたり、閉校記念事業を実施することにより、地域のコミュニティの核としての役割を担ってきた学校が、地域の記憶に留まるよう推進します。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		—	—	芸濃地域3小学校の閉校にあたり、閉校記念事業を実施することにより、地域のコミュニティの核としての役割を担ってきた学校が、地域の記憶に留まることとなった。	—

5 推進状況

本年度の単年度事業。
芸濃地域の3小学校が閉校するにあたり、記念誌の発行や記念事業を実施することにより、地域のコミュニティの核としての役割を担ってきた学校が、地域の記憶に留まることとなりました。

平成23年度 事業評価

事業名	健康教育推進事業	予算科目	款	教育費
			項	教育総務費
			目	教育振興費
			中事業	健康教育推進事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校・園において、発達段階に応じた健康教育の指導充実を図るとともに、学校、家庭、地域が一体となった取り組みを行うことで、子どもたちの健康課題について、子どもたち自らが主体的に解決できる能力の向上を図ります。 地域ごとに異なる給食実施の諸条件について検討し、調整を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	2,508	1,925	2,257	2,376
	補正予算額（流用額）	▲ 1,148 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	1,360	1,925	2,257	—
	決算額	1,073	1,868	2,207	—
前年度比較による 事業費の増減理由		子どもの健康を守る 地域専門家総合連携 事業に係る報償金の減 給食献立用ソフトの 更新に係る使用料の 皆増	子どもの健康を守る 地域専門家総合連携 事業に係る報償金及 び消耗品費の減 給食献立用ソフト使 用料の増	健康教育研修会講師 謝金の増 普通旅費の増 給食献立用ソフト使 用料の増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		健康教育の指導充実 給食実施条件の調整	健康教育の指導充実 給食実施条件の調整	健康教育の指導充実 給食実施条件の調整	健康教育の指導充実 給食実施条件の調整
指標設定 の考え方	平成21年度～	子どもたちの発達段階に応じた健康教育の指導充実を図るとともに、学校、家庭、地域が一体となった取り組みを行うことで、子どもたちの健康課題について、子どもたち自らが主体的に解決できる能力の向上を図ります。 地域ごとに異なる給食実施の諸条件について検討します。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		子どもたちの健康課題について、学校、家庭、地域の一体となった連携を充実強化させることができました。「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」に取り組み、子どもの健康への取り組みをさらに充実させることができました。学校給食における市内基本献立の作成に取り組み、給食献立用ソフトを更新し、献立管理業務の充実を図りました。	子どもたちの健康課題について、学校、家庭、地域の一体となった連携を充実強化させることができました。学校給食における市内基本献立の作成に取り組み、給食献立用ソフトを更新し、献立管理業務の充実を図りました。	子どもたちの健康課題について、学校、家庭、地域の一体となった連携を充実強化させることができました。学校給食衛生管理基準に基づく献立作成委員会を設置し、適正な学校給食の運営及び食育の推進を図りました。	—

5 推進状況

学校保健の中核となる教職員（管理職、保健主事、養護教諭）を学校保健研究大会等に派遣し、教職員の資質の向上を図ることができました。

市民及び教職員を対象とした健康教育研修会を開催し、子どもの健康課題解決のための連携を深めることができました。

子どもの安全を守るために、医師と消防職員を講師とした学校保健安全研修会を開催し、教職員の理解と知識を深め、学校における安全管理の徹底を図ることができました。

学校給食衛生管理基準に基づく献立作成委員会を設置し、適正な学校給食の運営を図るとともに学校給食を教材とした食育を推進することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	給食センター管理運営事業 (中央、香良洲、一志)	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 給食センター費
			中事業 給食センター管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として栄養バランスの取れた給食を提供し、学校給食センターを円滑に運営することで、児童、生徒、園児の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	28,283	29,648	201,588	284,965
	補正予算額(流用額)	12,594 (0)	0 (0)	▲ 22,569 (0)	—
	補正(流用)後予算額	40,877	29,648	179,019	—
	決算額	36,826	26,771	168,530	—
前年度比較による 事業費の増減理由		香良洲 調理員補充に係る賃 金の増 一志 備品購入費の増 地域活性化・経済危 機対策に係る消耗品 費及び備品修繕料の 増	香良洲 賃金及び自動車修繕料の 減 燃料費の増 一志 賃金及び燃料費の増 備品購入費の減 地域活性化・経済危機対 策に係る消耗品費及び備 品修繕料の減	中央 管理運営費の皆増 香良洲 賃金、燃料費、備品修繕 料の増 消耗品費の減 一志 賃金、燃料費、光熱水 費、施設・備品・自動車 修繕料、備品購入費の増 印刷製本費の減	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全安心な学校給食 の推進	安全安心な学校給食 の推進	安全安心な学校給食 の推進	安全安心な学校給食 の推進
指標設定 の考え方	平成21年度～	学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	—	—
	実績値(単位)	—	—	—	—
指標に対する実績		学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、学校給食センターを円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、学校給食センターを円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、香良洲、一志学校給食センター及び平成23年9月に供用開始した中央学校給食センターを円滑に運営することができました。	—

5 推進状況

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図るとともに、安全安心な学校及び園給食を実施することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	給食センター建設事業	予算科目	款 教育費 項 教育総務費 目 給食センター費 中事業 給食センター建設事業
-----	------------	------	---

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	津市中央学校給食センターを建設することで、中学校給食における実施、未実施の不均衡を解消します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	47,059	424,069	1,161,658	――
	補正予算額(流用額)	▲ 4,211 (0)	▲ 14,178 (0)	▲ 39,975 (0)	――
	補正(流用)後予算額	42,848	409,891	1,121,683	――
	決算額	42,694	409,882	1,121,678	――
前年度比較による 事業費の増減理由		用地購入費の皆減 建設実施設計業務委託料等の皆増	建設実施設計業務委託料の皆減 建設工事監理業務委託料及び工事請負費の皆増	供用開始に伴う消耗品費、備品購入費、負担金の増 工事請負費の増(H22年度 前金及び出来高払済)	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		(仮称)津市学校給食センターの建設	(仮称)津市学校給食センターの建設	津市中央学校給食センターの建設	――
指標設定の考え方	平成21年度～	津、久居地域の給食未実施の中学校11校について、センター方式により早期に給食を実施します。			
数値目標	目標値(単位)	――	――	――	――
	実績値(単位)	――	――	――	――
指標に対する実績		設計提案を実施し、選定された最適設計提案をもとに設計業務委託を行い、給食センター建設の計画の推進を図りました。	建設工事に着手し、業務委託による工事監理のもと、工事工程を進めました。	業務委託による工事監理のもと、工事工程を進め、当初の計画どおり平成23年9月に供用を開始しました。	――

5 推進状況

業務委託による工事監理のもと工期内に工事を完了し、当初の計画どおり平成23年9月に供用を開始することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校保健管理事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	小学校費
			目	学校管理費
			中事業	学校保健管理事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断並びに各種検診業務、就学時健康診断を行うことで、身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行うことで、児童に安全な環境を整えます。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害給付見舞金を支給することで、安心できる学校体制づくりを図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	63,562	65,221	66,020	113,432
	補正予算額（流用額）	8,516 (0)	▲ 1,300 (0)	▲ 1,000 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	72,078	63,921	65,020	— —
	決算額	65,873	57,893	59,229	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		地域活性化・経済危機対策に係る新型インフルエンザ対策用消耗品費及び医薬材料費の増	地域活性化・経済危機対策に係る新型インフルエンザ対策用消耗品費及び医薬材料費の減 保健用手数料の減 日本スポーツ振興センター災害共済給付見舞金の減	インフルエンザ等感染症対策用医薬材料費の減 人間ドック受診者の指導区分決定業務に係る健康診断委託料の増 備品購入費の増 日本スポーツ振興センター災害共済給付見舞金の増	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		児童及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	児童及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	児童及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	児童及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進
指標設定の考え方	平成21年度～	学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、児童に安全な環境を整えます。 学校管理下において発生した事故に対し、災害給付見舞金を支給することで、安心できる学校体制づくりを図ります。			
数値目標	目標値（単位）	— —	— —	— —	— —
	実績値（単位）	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断並びに各種検診業務、就学時健康診断を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、児童に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断並びに各種検診業務、就学時健康診断を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、児童に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断並びに各種検診業務、就学時健康診断を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、児童に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	— —

5 推進状況

学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断並びに各種検診業務、就学時健康診断を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。
学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な学校の体制づくりを図ることができました。
インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、学校における感染の予防と拡大防止に努めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校給食事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校給食事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することで、児童の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	88,934	92,345	84,552	88,382
	補正予算額（流用額）	27,906 (0)	▲ 8,010 (0)	▲ 100 (0)	—
	補正（流用）後予算額	116,840	84,335	84,452	—
	決算額	111,839	82,577	83,379	—
前年度比較による 事業費の増減理由		給食配送委託料の皆減 地域活性化・経済危機対策に係る消耗品費及び備品購入費の増	地域活性化・経済危機対策に係る消耗品費及び備品購入費の減 燃料費の増	燃料費及び光熱水費の増 美杉地域の親子給食に係る備品購入費の減	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進
指標設定の考え方	平成21年度～	学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。	—

5 推進状況

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図るとともに、安全安心な学校給食を実施することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校保健管理事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	中学校費
			目	学校管理費
			中事業	学校保健管理事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行うことで、生徒に安全な環境を整えます。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害給付見舞金を支給することで、安心できる学校体制づくりを図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	41,175	40,550	40,983	60,471
	補正予算額（流用額）	3,911 (0)	0 (0)	27,700 (0)	—
	補正（流用）後予算額	45,086	40,550	68,683	—
	決算額	39,613	37,450	64,684	—
前年度比較による 事業費の増減理由		地域活性化・経済危機対策に係る新型インフルエンザ対策用消耗品費及び医薬材料費の増	地域活性化・経済危機対策に係る新型インフルエンザ対策用消耗品費及び医薬材料費の減 保健用手数料の減 日本スポーツ振興センター災害共済給付見舞金の増	インフルエンザ等感染症対策用医薬材料費の減 人間ドック受診者の指導区分決定業務に係る健康診断委託料の増 日本スポーツ振興センター災害共済給付見舞金の増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		生徒及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	生徒及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	生徒及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進	生徒及び教職員の健康増進と、安全安心な学校づくりの推進
指標設定の考え方	平成21年度～	学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、生徒に安全な環境を整えます。 学校管理下において発生した事故に対し、災害給付見舞金を支給することで、安心できる学校体制づくりを図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、生徒に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、生徒に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した学校管理を行い、生徒に安全な環境を整えました。 学校管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる学校体制づくりを図りました。	—

5 推進状況

学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。
学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な学校の体制づくりを図ることができました。
インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、学校における感染の予防と拡大防止に努めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	学校給食事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 学校管理費
			中事業 学校給食事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することで、生徒の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	12,808	16,529	47,597	18,705
	補正予算額（流用額）	0 (0)	▲ 1,902 (0)	▲ 5,000 (0)	— —
	補正（流用）後予算額	12,808	14,627	42,597	— —
	決算額	10,937	13,406	41,558	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		燃料費及び備品購入費の減 消耗品費及び備品修繕料の増	燃料費及び備品修繕料の増 給食受入施設関連備品購入費の増	燃料費の増 中央学校給食センターの供用開始及び美杉地域の親子給食開始に伴う消耗品費及び備品購入費の増 美杉中給食配送委託料の増	— — — —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進	安全安心な学校給食の推進
指標設定の考え方	平成21年度～	学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。			
数値目標	目標値（単位）	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
	実績値（単位）	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
指標に対する実績		学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、学校教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な学校給食を円滑に運営することができました。 中学校給食における実施、未実施の不均衡を解消し、中学校給食に係る食育の充実を図ることができました。	— — — —

5 推進状況

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図るとともに、安全安心な学校給食を実施することができました。 中央学校給食センターの供用開始及び美杉地域の親子給食開始に伴う受入体制を整えたことにより、円滑な給食運営を実施することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園保健事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 幼稚園保健事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の早期発見に努め、健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した幼稚園管理を行うことで、園児に安全な環境を整えます。 幼稚園管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害給付見舞金を支給することで、安心できる幼稚園体制づくりを図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	8,444	9,384	8,734	31,484
	補正予算額（流用額）	3,991 (0)	▲ 150 (0)	▲ 350 (0)	—
	補正（流用）後予算額	12,435	9,234	8,384	—
	決算額	10,399	7,995	7,047	—
前年度比較による 事業費の増減理由		AED設置に係る保健用 備品購入費の減 地域活性化・経済危 機対策に係る新型イ ンフルエンザ対策用 消耗品費及び医薬材 料費の増	地域活性化・経済危 機対策に係る新型イ ンフルエンザ対策用 消耗品費及び医薬材 料費の減	AEDに係る消耗品費の減 インフルエンザ等感染症 対策用医薬材料費の減 飲料水水質検査等手数料 の減 日本スポーツ振興セン ター災害共済給付見舞金 の増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		園児及び教職員の健康 の増進と、安全安心な幼 稚園づくりの推進	園児及び教職員の健康 の増進と、安全安心な幼 稚園づくりの推進	園児及び教職員の健康 の増進と、安全安心な幼 稚園づくりの推進	園児及び教職員の健康 の増進と、安全安心な幼 稚園づくりの推進
指標設定 の考え方	平成21年度～	学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康増進を図ります。 学校環境衛生基準に則した幼稚園管理を行い、園児に安全な環境を整えます。 幼稚園管理下において発生した事故に対し、災害給付見舞金を支給することで、安心できる幼稚園体制づくりを図ります。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した幼稚園管理を行い、園児に安全な環境を整えました。 幼稚園管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる幼稚園体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した幼稚園管理を行い、園児に安全な環境を整えました。 幼稚園管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる幼稚園体制づくりを図りました。	学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断並びに各種検診業務を実施し、健康増進を図りました。 学校環境衛生基準に則した幼稚園管理を行い、園児に安全な環境を整えました。 幼稚園管理下において発生した事故に対し、（独）日本スポーツ振興センター法に基づく災害給付見舞金を支給し、安心できる幼稚園体制づくりを図りました。	—

5 推進状況

学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができました。

学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、（独）日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な幼稚園の体制づくりを図ることができました。

インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、幼稚園における感染の予防と拡大防止に努めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	幼稚園給食事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	幼稚園費
			目	幼稚園費
			中事業	幼稚園給食事業（学校教育課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育環境の整備・充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	幼児教育活動の一環として、栄養バランスのとれた食事を園児に提供し、安全安心な幼稚園給食を円滑に運営することで、園児の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	2,851	2,666	2,570	2,716
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	2,851	2,666	2,570	—
	決算額	2,695	2,550	2,519	—
前年度比較による 事業費の増減理由		備品購入費の減	備品修繕料の減	消耗品費の減 備品購入費の増	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		安全安心な幼稚園給食の推進	安全安心な幼稚園給食の推進	安全安心な幼稚園給食の推進	安全安心な幼稚園給食の推進
指標設定 の考え方	平成21年度～	学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養います。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		学校給食法に基づき、幼児教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な幼稚園給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、幼児教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な幼稚園給食を円滑に運営することができました。	学校給食法に基づき、幼児教育活動の一環として、栄養バランスの取れた給食を提供し、安全安心な幼稚園給食を円滑に運営することができました。	—

5 推進状況

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図るとともに、安全安心な幼稚園給食を実施することができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	事務局管理事業(教育研究支援課)	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 事務局費
			中事業 事務局管理事業(教育研究支援課)

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	信頼される学校づくりの推進
		重点プログラム	元気な人づくりプログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校運営協議会委員運営報酬、事務局指導主事の先進校視察旅費、事務局(所)運営に係る需要費や役務費など、教育研究支援課の業務全般を円滑に行うための経費を執行しており、適正な執行管理を基本に効果的かつ効率的な管理運営に努めています。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	2,713	3,951	3,244	2,857
	補正予算額(流用額)	672 (0)	0 (0)	630 (0)	—
	補正(流用)後予算額	3,385	3,951	3,874	—
	決算額	3,112	3,603	3,564	—
前年度比較による 事業費の増減理由		事務局用備品による 増額	I C T関係用の消耗 品費増による増額	I C T関係用の消耗 品費減による減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育研究支援課の事務経費の効率的執行	教育研究支援課の事務経費の効率的執行	教育研究支援課の事務経費の効率的執行	教育研究支援課の事務経費の効率的執行
指標設定 の考え方	平成21年度～	教育研究支援課の事務経費について、円滑な運営と効率的執行を図ります。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	—	—
	実績値(単位)	—	—	—	—
指標に対する実績		経費縮減に努めました。	経費縮減に努めました。	経費縮減に努めました。	—

5 推進状況

教育研究支援課の事務経費について、適正な執行及び円滑な運営と効率的な執行を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育振興事務事業(教育研究支援課)	予算科目	款	教育費
			項	教育総務費
			目	教育振興費
			中事業	教育振興事務事業(教育研究支援課)

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	クラブ振興活動・特別支援教育及びへき地複式教育の振興のために補助金等を支払い、取組を支援します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	18,431	14,656	14,650	14,399
	補正予算額(流用額)	▲ 3,900 (0)	▲ 2,190 (0)	▲ 2,300 (0)	—
	補正(流用)後予算額	14,531	12,466	12,350	—
	決算額	14,107	11,837	11,897	—
前年度比較による事業費の増減理由		クラブ活動実績による減額	クラブ活動実績による減額	クラブ活動実績による減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		負担金、補助金の申請に対する実施率	負担金、補助金の申請に対する実施率	負担金、補助金の申請に対する実施率	負担金、補助金の申請に対する実施率
指標設定の考え方	平成21年度～	クラブ活動の負担金や補助金、特別支援教育、へき地複式教育振興会の補助金の申請に対する実績率を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	100 %	100 %	100 %	—
指標に対する実績		申請どおり執行し、研究組織を支援できました。	申請どおり執行し、研究組織を支援できました。	申請どおり執行し、研究組織を支援できました。	—

5 推進状況

中学校の部活動の振興を図ることができました。特別支援学級の児童生徒が仲間とともに活動に取り組み、ふれあい体験や社会性の育成を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育総合支援事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 教育総合支援事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	教育内容の向上を図るため、学校・園が組織として教育力を高め、地域・保護者との協働による子どもたちの「学ぶ力の育成」をめざした持続的な教育活動の取組を支援します。そのため、小中学校に非常勤講師や外国語指導助手、特別支援教育支援員を派遣することで、教育活動の支援を行い、児童生徒の生きる力の育成を図ります。また、外国人児童生徒のための通訳やスクールカウンセラー及びスマイルハートサポーターを配置することで、児童生徒の学校への適応支援や相談受け入れ体制を充実します。さらに、子どもたちの生きる力を育むため、子どもたちや地域の特性を生かしながら、学校・園の独自性のある特色ある学校づくりを行っていく必要があります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	290,553	300,658	327,351	325,769
	補正予算額（流用額）	2,821 (0)	▲ 2,555 (0)	▲ 849 (0)	—
	補正（流用）後予算額	293,374	298,103	326,502	—
	決算額	288,589	291,422	318,519	—
前年度比較による事業費の増減理由		図書館司書に関する経費を新規中事業に移管したことによる減額	ALT関係諸経費は減額となったものの、特別支援教育支援員の賃金及び、薬品廃棄処分委託料分が増額となったため、全体的に増額	新規の「かがやきプロジェクト」事業が発足したことによる増額	—

4 指標設定

年、度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率	配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率	配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率	配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率
指標設定の考え方	平成21年度～	各学校によりニーズは様々であり、一律の支援を行うことよりも、実態を把握しそれに応じた支援を行うことが大切であるため、配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値（単位）	100 %	100 %	100 %	—
指標に対する実績		必要とする学校に対して配置することができました。	必要とする学校に対して配置することができました。	各学校・園からのニーズに応じて、適正な配置を実施しました。	—

5 推進状況

「生きる力」育成サポーター、ALT、特別支援教育支援員の賃金が総予算額に占める割合が高いことから、人的支援のための事業という傾向が強くなっています。

平成23年度 事業評価

事業名	学校図書館いきいき推進事業	予算科目	款	教育費
			項	教育総務費
			目	教育振興費
			中事業	学校図書館いきいき推進事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	子どもたちの「生きる力」の育成を図るため、学校教育において学校図書館の担う役割は大きく、子どもたちの読書活動と豊かな学習活動を行うための場として、学校図書館の活性化を図ります。そこで、全中学校区に学校図書館司書を配置し、学校図書館の整備や子どもたちへの読書指導や学習支援等を行い、子どもたちの読書意欲の向上と学力の向上を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	25,070	30,083	31,098	77,981
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	25,070	30,083	31,098	—
	決算額	24,736	29,750	30,299	—
前年度比較による 事業費の増減理由		平成20年度まで、文部科学省委託事業により図書館教育の充実を図ってきました。これを、市全体へ拡大するため、本年度からの市新規事業	学校図書館司書の5名増員に伴う事業費の増額及び、消耗品費の増額	学校図書館環境整備の消耗品費増による増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		学校図書館司書のうち臨時職員としての活用数	学校図書館司書のうち臨時職員としての活用数	学校図書館司書のうち臨時職員としての活用数	学校図書館司書のうち臨時職員としての活用数
指標設定の考え方	平成21年度～	子どもたちの読書活動及び読書環境の充実のためには、子どもたちの身近に読書支援ができる司書がいることが不可欠です。現在、学校図書館司書は、臨時職員として1週間5日、8時間勤務の臨時職員の司書と、1週間に1回4時間の巡回の学校図書館協力員を配置しています。子どもたちの学びの機会や学習の場の均等性から、学校図書館司書全員を臨時職員として配置していきます。			
数値目標	目標値(単位)	14 人	19 人	19 人	19 人
	実績値(単位)	14 人	19 人	19 人	—
指標に対する実績		学校図書館司書と学校図書館協力員の業務内容は同様であるにも関わらず、勤務形態に大差があります。取組において学校間に格差が見られるため、学校図書館協力員を学校図書館司書へ配置していきます。	全中学校区に学校図書館司書を配置することができ、各学校区の図書館環境の整備が進みました。	全中学校区に学校図書館司書を配置することができ、各学校区の図書館環境の整備及び読書活動が進み、子どもたちの読書冊数も増加しました。	—

5 推進状況

学校図書館司書間の情報交換の機会を増やす工夫をすることで、読書活動や学習支援についてのさらなる充実を図ることができます。

平成23年度 事業評価

事業名	教育研究推進事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 教育研究推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	元気な人づくりプログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	新たな教育課題の解決等に向けた実践をモデル校において行い、その成果を全市に還元することで、本市の学校教育の充実を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	6,042	4,633	9,396	10,284
	補正予算額(流用額)	0 (▲400)	0 (0)	850 (0)	—
	補正(流用)後予算額	5,642	4,633	10,246	—
	決算額	5,236	3,638	9,897	—
前年度比較による事業費の増減理由		国の示達経費により実施していた事業の廃止に伴う、市費負担による増額	本年度から受ける必要がなくなった県委託の事業が2つあり、予算化する必要がなくなったため減額	学力学習状況調査にかかる追加費用が必要となったため増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育課題を解決するための取組を行う学校における、公開授業や公開研修会等の実施率	教育課題を解決するための取組を行う学校における、公開授業や公開研修会等の実施率	教育課題を解決するための取組を行う学校における、公開授業や公開研修会等の実施率	教育課題を解決するための取組を行う学校における、公開授業や公開研修会等の実施率
指標設定の考え方	平成21年度～	研究成果をモデル校だけのものとせず、市内全体に還元させることが必要であり、この成果指標を設けます。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	100 %	100 %	100 %	—
指標に対する実績		事業を受けた推進校では、積極的な授業公開ができ、参加した他校の参考となりました。	事業を受けた推進校では、積極的な授業公開ができ、参加した他校の参考となりました。	事業を受けた推進校では、積極的な授業公開ができ、参加した他校の参考となりました。	—

5 推進状況

各モデル校においては、それぞれの主旨を踏まえた公開授業研究が行われましたが、モデル校による取組の成果を市内に広げることを達成するための手立てについて検討する必要があります。

平成23年度 事業評価

事業名	元気づくり事業 (地域学びの拠点づくり事業)	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 元気づくり事業(地域学びの拠点づくり事業)

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	元気な人づくりプログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	小規模校を有する地域（美杉地域、芸濃地域、美里地域）において、小中学校で一貫した教育を行う学校づくりを推進するとともに、学校と地域が連携し「共育」していく教育システムの構築を目指します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	2,435	2,451	1,853	—
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	0	2,451	0	—
	決算額	2,294	1,948	1,607	—
前年度比較による 事業費の増減理由		19年度は美杉地域、20年度は美杉地域と芸濃地域に、21年度は美杉地域と芸濃地域と美里地域へ拡大による増額	地域交流活動に係る自動車等借上料の節約による決算額の減少	本事業の内容と芸濃地域における統合に向けた行事を合わせて実施することにより、事業費の節約ができ減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		地域人材が関わった行事の実施回数	地域人材が関わった行事の実施回数	地域人材が関わった行事の実施回数	—
指標設定の考え方	平成21年度～	目標である「共育」を実現していくためには、地域人材の関わりが不可欠であることから、1地域あたり地域人材が関わった行事を10回実施する目標を設定しました。			
数値目標	目標値（単位）	30 回	30 回	30 回	—
	実績値（単位）	45 回	58 回	63 回	—
指標に対する実績		美杉地域で8回、美里地域で19回、芸濃地域で18回の開催があり、総合的には目標を達成しました。今後は、内容面での創意工夫についても改善していきます。	美杉地域で11回、芸濃地域で20回、芸濃地域で27回の開催があり、総合的には目標を達成しました。今後は、内容面での創意工夫についても改善していきます。	美杉地域で3回、美里地域で27回、芸濃地域で37回の開催があり、総合的には目標を達成しました。事業は廃止となるが、今後は、地域の特色を生かした学校づくり、地域との関係づくりについて、輝きプロジェクト事業においても取り組んでいきます。	—

5 推進状況

英語活動指導員（JTE）を配置し、英語活動の充実を図っています。 学校間交流、地域間交流については、地域の特色を生かした交流活動を行っています。 芸濃地域については、地域が中心となって講演会を開催することで、地域全体の教育力向上を図りました。

平成23年度 事業評価

事業名	特別支援教育支援員配置事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 教育振興事務事業（教育研究支援課）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	幼稚園や小中学校に在籍する特別な配慮を要する幼児児童生徒に、支援を必要とする場面や状況で、適切な介助や支援を行い、毎日の生活や学習に安心して参加できるようにします。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	———	14,656	13,591	15,092
	補正予算額（流用額）	———	▲ 2,190 (0)	0 (0)	———
	補正（流用）後予算額	———	12,466	13,591	———
	決算額	———	11,837	12,974	———
前年度比較による 事業費の増減理由		———	「介助員」を「特別支援教育支援員」と名称を変更しただけでなく、支援する対象の児童生徒を、特別支援学級に在籍する者だけでなく、通常学級にまで範囲を広げたことから、増員の必要性が生じました。	小中学校の特別支援教育支援員の週あたりの総勤務時間数を一部延長可能としたため増額	———

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		———	特別支援教育支援員の人数	特別支援教育支援員の人数	特別支援教育支援員の人数
指標設定の考え方	平成22年度～	各学校の実態を把握し、それに応じた支援を行うことが大切であるため、配置が必要な幼稚園及び小中学校への配置率を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	———	———	———	———
	実績値（単位）	———	———	———	———
指標に対する実績		———	今後も各校からのニーズや、児童生徒の実態や人数、特別支援教育支援員の待遇面の改善等を検討しながら、事業を継続していく予定です。	今後も各校からのニーズや、児童生徒の実態や人数、特別支援教育支援員の待遇面の改善等を検討しながら、事業を継続していく予定です。	———

5 推進状況

学校からのニーズに対応していくための支援が十分にできないところがあります。学校からのニーズに応じた対応をより実現するために、特別支援教育支援員の具体的な支援内容の質的な向上と、増員について検討します。

平成23年度 事業評価

事業名	教育研究所管理運営事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育研究所費
			中事業 教育研究所管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	学校サポーターによる学校教育への総合的な支援を実施します。今日的な教育課題や教職員のニーズ等に応じた各種研修会を実施することで、教職員の資質や指導力の向上、専門的知識・技能の習得を図ります。効果的な指導方法等についての自主的な研究活動を推進したり、各種学習発表会（作品展や音楽会等）を実施して児童生徒の主体的な学習活動を促したりするなどして、市内学校教育の振興を図ります。園児・児童生徒とその保護者、教職員等を対象として、適切な教育相談を実施します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	15,878	16,387	14,958	14,116
	補正予算額（流用額）	24,680 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	40,558	16,387	14,958	—
	決算額	39,899	15,817	14,063	—
前年度比較による 事業費の増減理由		教育活動指導研究委託料の減額 事務機器借上料の減額	教育活動指導研究委託料の増額	事務機器借上料の減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		教育相談件数	教育相談件数	教育相談件数	教育相談件数
指標設定 の考え方	平成21年度～	多様な課題に対応できるような相談体制を整えるとともに、相談件数を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	3,200 件	3,200 件	3,200 件	3,800 件
	実績値（単位）	2,901 件	3,322 件	3,773 件	—
指標に対する実績		適切な相談活動ができました。	目標を超えて十分な相談活動ができました。	目標を超えて十分な相談活動ができました。	—

5 推進状況

教職員研修として、特別支援教育、情報機器活用の講座を充実させることができました。今後も、研修内容の精選と充実により、教職員の資質や指導力の向上を図ります。

平成23年度 事業評価

事業名	教育支援センター事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育研究所費
			中事業 教育支援センター事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	不登校児童生徒が将来社会人として自立できるようにするために、学校への復帰や進路選択のための支援を行います。また、児童生徒が不登校にならないようにするために、早期発見・早期対応に努めます。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	7,092	7,088	7,115	7,846
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	7,092	7,045	7,115	—
	決算額	6,820	6,728	6,765	—
前年度比較による事業費の増減理由		センターリーフレット作成費増額	リーフレット作成費減額	自立体験活動費・自立体験活動講師・メンタルチューター講師保険料・ほほえみ教室使用の両面印刷キッド及びふれあいの施設補修用原材料費の増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		不登校児童生徒の学校への復帰率	不登校児童生徒の学校への復帰率	不登校児童生徒の学校への復帰率	不登校児童生徒の学校への復帰率
指標設定の考え方	平成21年度～	本事業は、不登校児童生徒が集団生活への適応指導を受けることにより、学校への復帰を目指しているため、復帰率を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	60 %	60 %	60 %	60 %
	実績値(単位)	65 %	49 %	55 %	—
指標に対する実績		復帰率が上昇したことは、成果ですが、学校復帰の先にある社会的な自立に向けて不登校児童生徒への支援策を講じていくことが大切です。	目標値に達していないことを重く受け止めるべきであるが、学校への復帰が当該児童生徒にとって最善であるかどうかという判断も常に必要です。	目標値に達していないことを重く受け止めるべきであるが、学校への復帰が当該児童生徒にとって最善であるかどうかという判断も常に必要です。	—

5 推進状況

不登校児童生徒の学校復帰、社会的自立の支援及び、不登校児童生徒の早期発見・早期対応を進めています。今後はさらに児童生徒個々に応じた適切かつ迅速な対応が必要です。

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業(教育研究支援課)	予算科目	款 教育費 項 小学校費 目 教育振興費 中事業 教育指導活動支援事業(小学校)
-----	---------------------	------	---

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	小学校における教科指導及び校外活動等を支援することによって、児童の学力向上及び体験活動の推進を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	17,394	13,186	171,609	29,548
	補正予算額(流用額)	▲ 467 (0)	▲ 880 (0)	▲ 8,400 (0)	———
	補正(流用)後予算額	16,927	12,306	163,209	———
	決算額	15,183	11,966	162,571	———
前年度比較による事業費の増減理由		ティームティーチング(1クラス2名の教師で授業を行う。)・少人数教育での教科書等の減額	教科書及び社会科副読本等の減額	小学校教科書改訂に伴う教科書及び指導書の整備や実物投影機の導入による増額	———

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		必要とする学校への配当率	必要とする学校への配当率	必要とする学校への配当率	必要とする学校への配当率
指標設定の考え方	平成21年度～	小学校における教科指導及び校外活動等を支援するために必要な予算を確実に学校に配当します。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	100 %	100 %	100 %	———
指標に対する実績		要望に対しては、余剰を活用して要望どおり配当することができました。	要望に対しては、余剰を活用して要望どおり配当することができました。	要望に対しては、余剰を活用して要望どおり配当することができました。	———

5 推進状況

児童の学力向上や学習の推進をさせるために、改訂された教科書・指導資料の活用や実物投影機を効果的に活用することで、教科指導の一層の充実を図ることができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	教育研究推進事業	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 教育振興費
			中事業 教育研究推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各小学校において、総合的な学習の時間をはじめ、特別活動等、子ども・保護者・地域の特性やニーズを取り入れた独自の学習活動を展開するなど、特色ある学校づくりが求められています。そこで、各学校における生活科や総合的な学習の時間の充実や、地域のよさを生かした学習活動の充実、地域と連携した学校行事の充実を図ります。こうしたことから、本事業において各小学校が特色ある学校づくりを推進していくための予算措置を行います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	—	—	6,863	6,863
	補正予算額(流用額)	—	—	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	—	—	6,863	—
	決算額	—	—	6,726	—
前年度比較による 事業費の増減理由		—	—	—	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		—	—	全実施校に対する地域や保護者の方が支援ボランティアやゲストティーチャーとして活動している割合	全実施校に対する地域や保護者の方が支援ボランティアやゲストティーチャーとして活動している割合
指標設定 の考え方	平成23年度～	特色ある学校づくりを進めるためには、地域や保護者の方が支援ボランティアやゲストティーチャーとして活動することが必要であることから、本指標を設定しました。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	80 %	100 %
	実績値(単位)	—	—	100 %	—
指標に対する実績		—	—	学校裁量型予算配当校は、昨年度の成果や課題に基づき全小学校で実施することができ、次年度の事業の質の向上への展望が持てました。	—

5 推進状況

各学校の特性を生かし創意工夫をした取組が実施されるとともに、地域や保護者と連携した活動が実施されました。また、各学校において、中間期に事業評価を行い改善を行いながら、学校の自主的な教育活動を展開することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	教育指導活動支援事業(教育研究支援課)	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 教育振興費
			中事業 教育指導活動支援事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	中学校における教科指導及び校外活動等を支援することによって、生徒の学力向上及び校外活動の推進を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	14,815	8,941	8,075	55,488
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	14,815	8,941	8,075	—
	決算額	12,989	8,012	7,173	—
前年度比較による 事業費の増減理由		教科書・指導書等による減額	教科書・指導書等による減額	教科書・指導書等による減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		必要とする学校への 配当率	必要とする学校への 配当率	必要とする学校への 配当率	必要とする学校への 配当率
指標設定 の考え方	平成21年度～	毎年、学校のニーズに応じて予算配当することが必要であるため、本指標を設定します。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	100 %	100 %	100 %	—
指標に対する実績		要望に対しては、要望どおり配当することができました。	要望に対しては、要望どおり配当することができました。	要望に対しては、要望どおり配当することができました。	—

5 推進状況

生徒の学力向上や学習の推進をさせるために、教科書・指導資料の効果的に活用することで、教科指導の一層の充実を図ることができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	教育研究推進事業	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 教育振興費
			中事業 教育研究推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各中学校が生徒や地域の実態に応じた特色ある教育活動を展開することを支援するとともに、すべての中学生に職場体験学習の機会を与え、自己の進路や社会のことについて考えたり、社会人から学んだりすることができるようにします。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	5,372	5,811	4,202	4,108
	補正予算額(流用額)	▲ 400 (0)	▲ 400 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	4,932	5,411	4,202	—
	決算額	4,449	5,064	3,917	—
前年度比較による事業費の増減理由		特色ある学校づくり事業において、上限額を定めた学校裁量型予算配当校を本格実施したことと、自分発見!中学生・地域ふれあい事業でクラス数が減少したため減額	特色ある学校づくり事業において、1中学校当たりの報償品費等を増額したため増額	中学生職場体験推進事業において、学級減があったため減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		特色ある学校づくりと職場体験学習を実施した中学校の割合	特色ある学校づくりと職場体験学習を実施した中学校の割合	特色ある学校づくりと職場体験学習を実施した中学校の割合	特色ある学校づくりと職場体験学習を実施した中学校の割合
指標設定の考え方	平成21年度～	本市の中学校教育の充実のため、全中学校で取り組むべき内容であることから、実施校の割合を指標とし、100%を目標とします。			
数値目標	目標値(単位)	100 %	100 %	100 %	100 %
	実績値(単位)	100 %	100 %	100 %	—
指標に対する実績		特色ある学校づくりの取組と職場体験学習が全中学校で実施され、キャリア教育の充実が図られました。	特色ある学校づくりの取組の創意工夫が進むとともに、職場体験学習も引き続き、全中学校で実施されました。	特色ある学校づくりの取組の創意工夫が進むとともに、職場体験学習も引き続き、全中学校で実施されました。	—

5 推進状況

学校の創意工夫を保障していくことと、キャリア教育推進のため、継続すべき取組でありその手法については、常に改善していく必要があります。

平成23年度 事業評価

事業名	教育研究推進事業	予算科目	款 教育費
			項 幼稚園費
			目 幼稚園費
			中事業 教育研究推進事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	幼児内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各幼稚園の幼児や地域の実態に応じた特色ある教育活動の推進のため、子育て支援事業・幼稚園職員研修・幼稚園職員指導等を行います。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	2,239	2,379	2,165	3,336
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	2,239	2,379	2,165	—
	決算額	1,811	2,324	2,026	—
前年度比較による事業費の増減理由		幼児教育の充実のため、子育て支援事業の報償費を増額	子育て支援事業では、消耗品費等の削減となりましたが、幼稚園職員研修事業については、研修旅費等を増額し、総合的には、増額	子育て支援事業のコーディネーター謝金と、職員研修参加旅費等を削減しましたが、幼児教育・幼稚園職員の充実のため、削減額は最小限	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		研修会への参加者数	研修会への参加者数	研修会への参加者数	研修会への参加者数
指標設定の考え方	平成21年度～	研修会場までの距離により予算に制約されることも考えられますが、年間30人（全体の約2割）とし、5年に1度は、大きな研修会に参加する体制を目指すこととします。			
数値目標	目標値（単位）	30 人	30 人	30 人	30 人
	実績値（単位）	32 人	41 人	27 人	—
指標に対する実績		幼稚園の現状把握や課題を認識しながら研修会等への参加を進めていきます。	幼稚園の現状把握や課題を認識しながら研修会への参加を進めていきます。	遠方で研修会が実施され予算との関係から、昨年度より人数が下回りましたが、ほぼ目標値に近い人数が研修に参加することができました。今後、幼稚園の現状把握や課題を認識しながら、研修の充実を図っていきます。	—

5 推進状況

子育て支援事業は各園の未就園児の会や子育て広場への参加者が増加しており、地域やその保護者にとって必要な事業です。今後も、子育て家庭を支えていくことに努めます。
幼稚園職員研修事業は、職員の資質向上のため、各種研修会の実施し参加を促してきました。そのことにより、各幼稚園の保育内容の充実につながっています。

平成23年度 事業評価

事業名	小学校統合ウォームアップ事業	予算科目	款	その他
			項	その他
			目	その他
			中事業	その他

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	芸濃地域の小学校統合に向け、各学校の特色ある取組を継承し、統合される学校においても地域を担う人材として児童が夢をもち、その実現にむけて自立できるよう、児童の交流活動や教職員の共通理解を図るための研修会等を実施し、統合にむけて児童、保護者、地域住民、教職員のスムーズな統合が図れるよう推進します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	591	0	830	0
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	補正（流用）後予算額	0	0	0	0
	決算額	500		759	
前年度比較による 事業費の増減理由		美杉地域の小学校統合に向けた新規事業	廃止	芸濃地域の小学校統合に向けた新規事業	廃止

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		児童の交流活動の実施回数	———	児童の交流活動の実施回数	———
指標設定 の考え方	平成21年度～	各学校の特色ある取組等を交流活動を通じて行い、児童・教職員・地域住民が共通理解を図り、スムーズな統合が図れるよう推進します。			
数値目標	目標値（単位）	6 回	———	12 回	———
	実績値（単位）	6 回	———	12 回	———
指標に対する実績		平成21年度末に統合した2小学校の児童と、平成22年度末に閉校の1小学校を合わせた全児童が統合される学校にむけて、全学年を対象として、発達段階に応じた学年別の活動及び全校活動等、有効な交流を行うことができました。	廃止	統合する3小学校の児童が、各学年ごとに、学習や行事を通じて交流し、お互いの学校のよさを知るとともに、友情を深め統合に向けた有意義な交流を行うことができました。また、統合をしない1小学校とも交流し、同じ芸濃地域に住む仲間としてつながりをもつことができました。	廃止

5 推進状況

本年度の単年度事業。
統合に向け、児童をはじめ、教職員、保護者、地域住民が共通理解を図りながら、スムーズな統合が図れるよう推進することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	人権教育関係事業	予算科目	款 教育費
			項 教育総務費
			目 教育振興費
			中事業 人権教育関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	健全育成活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	子どもの発達段階に応じ、人権にかかわる知識理解と豊かな人権感覚を育み、それを様々な場面や状況下で具体的な態度や行動に現れるよう、環境づくり、学習活動づくり、人間関係づくりを進めていくため、全ての中学校区で子ども人権フォーラムを実施するとともに、中学校区における各園、学校の連携、情報交換及び実践交流を行います。 日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対し日本語指導を行い、配布物の翻訳や保護者との連絡調整を行うことで、学習環境を整えます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	12,661	11,560	36,411	36,217
	補正予算額(流用額)	▲200 (0)	▲300 (0)	564 (0)	——
	補正(流用)後予算額	12,461	11,260	36,975	——
	決算額	12,136	10,918	34,123	——
前年度比較による事業費の増減理由		全国人権・同和教育研究大会三重県開催による参加費用等の増	全国人権・同和教育研究大会三重県開催による参加費用等の減	事業の組替えによる増	——

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		中学校区単位での子ども人権フォーラム等開催校区	中学校区単位での子ども人権フォーラム等開催校区	中学校区単位での子ども人権フォーラム等開催校区	中学校区単位での子ども人権フォーラム等開催校区
指標設定の考え方	平成21年度～	人権教育推進のための、中学校区単位での人権フォーラム等を開催する校区数を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	12 校	20 校	20 校	20 校
	実績値(単位)	13 校	20 校	20 校	——
指標に対する実績		各小・中学校・幼稚園において人権学習会・講演会や人権教育実践拠点事業を実施して、子どもの生活課題や悩み、差別の現実から出発する生活に根差した学習を深めるとともに人権集会を通して保護者や地域住民へ発信することができました。	本年度は20中学校区すべての校区で子ども人権フォーラムを実施した。幼稚園、小学校、中学校が連携し、人権に関する理解と豊かな人権感覚を育み人権文化を構築する主体者づくりを目指す中で、人権感覚あふれる園・学校づくりを進めることができました。	本年度も小中学校・幼稚園が連携し、人権に関する理解を深め豊かな人権感覚を育み、人権文化を構築する主体者づくりを目指す中でそれぞれの課題に応じた様々な形態での子ども人権フォーラムを全中学校区で実施することができました。	——

5 推進状況

本年度も、小中学校・幼稚園が連携し、人権に関する理解と豊かな人権感覚を育み、人権文化を構築する主体者づくりを目指す中で、それぞれの課題に応じた様々な形態での子ども人権フォーラムを全中学校区で実施することができました。 日本語指導が必要なポルトガル語及びスペイン語の児童生徒が在籍し巡回担当員の派遣を希望する学校へは、必ず派遣することができました。タガログ語対応の巡回担当員を配置しましたが、年度途中からの転入や幼稚園での早期からの対応等ニーズが多く、課題となっています。
--

平成23年度 事業評価

事業名	人権教育推進事業	予算科目	款 教育費
			項 小学校費
			目 教育振興費
			中事業 人権教育関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各小学校において、様々な人権課題に取り組む人との出会い学習を通して、子どもの自尊感情を育て、一人ひとりの自己実現をめざす人権教育の推進を行います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	1,140	1,464	1,464	1,187
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	1,140	1,464	1,464	—
	決算額	945	1,221	1,455	—
前年度比較による事業費の増減理由		事務事業全体の減少による	講師謝金等による増額	増減なし	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		人権教育推進事業開催校数	人権教育推進事業開催校数	人権教育推進事業開催校数	人権教育推進事業開催校数
指標設定の考え方	平成21年度～	人権教育を推進するための、人権教育推進授業の開催校数を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	224 回	220 回	220 回	220 回
	実績値(単位)	189 回	186 回	220 回	—
指標に対する実績		各学校において人権教育推進計画を作成し、それに基づいた人権教育が行われました。	各学校において人権教育推進計画を作成し、それに基づいた人権教育が行われました。	各学校において人権教育推進計画を作成し、それに基づいた人権教育が行われました。 また、小学校4校(桃園、一身田、棕本、戸木)で子どもを暴力から守るセミナーを実施しました。	—

5 推進状況

全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方などについての学習を深めたり、さらには人権集会などを通して保護者や地域の住民へ発信したりして、学びを共有し実践力を高めることができました。
また、小学校4校(桃園、一身田、棕本、戸木)で子どもを暴力から守るセミナーを実施しました。

平成23年度 事業評価

事業名	人権教育推進事業	予算科目	款 教育費
			項 中学校費
			目 教育振興費
			中事業 人権教育推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	教育内容の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各中学校において、様々な人権問題に取り組む人たちとの出会い学習を通して、子どもたちの自尊感情を育て、お互いの人権を尊重し合うことの大切さを学ぶ人権教育を推進していきます。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	600	600	600	500
	補正予算額（流用額）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	600	600	600	—
	決算額	575	525	590	—
前年度比較による 事業費の増減理由		事業費全体の減少による	増減なし	増減なし	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		人権教育推進授業開催校数	人権教育推進授業開催校数	人権教育推進授業開催校数	人権教育推進授業開催校数
指標設定 の考え方	平成21年度～	人権教育推進に係る、出会い学習開催校数を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	120 回	120 回	120 回	120 回
	実績値（単位）	115 回	105 回	118 回	—
指標に対する実績		全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方などについての学習を深めたりすることができました。	全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方などについての学習を深めたりすることができました。	全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方などについての学習を深めたりすることができました。	—

5 推進状況

全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方についての学習を深めたりすることができました。さらに人権集会などを通して、保護者、地域の住民へ発信したりして、学びを共有し実践力を高めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	人権教育推進事業	予算科目	款	教育費
			項	幼稚園費
			目	幼稚園費
			中事業	人権教育推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生きる力を育む教育の推進
		施策	幼児教育の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	各幼稚園の人権教育を充実させるため、人権問題にかかる研修を行うとともに、人権啓発に資する幼児用図書を購入し、読み聞かせ等により園児に仲間の大切さや自尊感情を育てる機会を作ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	378	935	935	944
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
	補正(流用)後予算額	378	935	935	—
	決算額	349	867	901	—
前年度比較による事業費の増減理由		全国人権・同和教育研究大会参加旅費の減による	人権学習事業講師謝金の増額による	増減なし	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		人権教育推進リーダーの育成人数	人権教育推進リーダーの育成人数	人権教育推進リーダーの育成人数	人権教育推進リーダーの育成人数
指標設定の考え方	平成21年度～	人権教育の推進に係る、人権教育リーダーの育成人数を指標とします			
数値目標	目標値(単位)	56 人	64 人	72 人	82 人
	実績値(単位)	61 人	60 人	94 人	—
指標に対する実績		人権に関する絵本を読み聞かせることを通して、自尊感情やコミュニケーション能力、自己表現力の育成を図ることができました。	人権に関する絵本を読み聞かせることを通して、自尊感情やコミュニケーション能力、自己表現力の育成を図ることができました。	人権に関する絵本を読み聞かせることを通して、自尊感情やコミュニケーション能力、自己表現力の育成を図ることができました。	—

5 推進状況

全園児を対象に、人権問題の解決に向けて取り組んでいる様々な人との出会いや、絵本の読み聞かせを通して、自分を大切に、他者を大切にできる保育活動に取り組む中で、園児の人権感覚を高めると共に保護者への啓発につなげることができました。

子どもを暴力から守るセミナーを通して、自他の権利を守ることについて学びました。

平成23年度 事業評価

事業名	人権教育関係事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 人権教育関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	健全育成活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	地域における人権意識の高揚を図るため、地域住民を対象に人権教育講演会等の地域ネットワーク事業の実施、公民館講座等での人権出前講座を実施します。 また、三重大大学の学生サークルと連携し、園児・保護者を対象とした人権人形劇の公演、外国人住民等を対象とした日本語講座を開催します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	17,673	17,454	21,992	22,708
	補正予算額（流用額）	▲300 (0)	3,890 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	17,373	21,334	21,992	—
	決算額	16,450	20,451	21,547	—
前年度比較による 事業費の増減理由		事業費等全体の減少による減額	事業費等全体の減少による減額	臨時職員賃金の予算計上による増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		人権教育関係事業で協働した市民活動団体数	人権教育関係事業で協働した市民活動団体数	人権教育関係事業で協働した市民活動団体数	人権教育関係事業で協働した市民活動団体数
指標設定の考え方	平成21年度～	人権意識の高揚を図るため、人権教育関係事業で協働した各種団体数を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	13 団体	15 団体	17 団体	20 団体
	実績値（単位）	13 団体	13 団体	21 団体	—
指標に対する実績		各地域の人権ネットワーク組織と協働して人権講演会を実施することができました。また、子どもから高齢者まで参加し楽しめる人権啓発事業を実施することができました。	各地域の人権ネットワーク組織と協働して人権講演会を実施することができました。また、子どもから高齢者まで参加し楽しめる人権啓発事業を実施することができました。	各地域の人権ネットワーク組織と協働して人権講演会を実施することができました。また、様々な課題に対しての人権啓発事業を実施することができました。	—

5 推進状況

各地域の人権ネットワーク組織と協働して人権教育講演会を実施することができました。今後も、地域の各種団体との連携を図り、講演内容や講演実施の周知方法を工夫して、さらに事業効果を高めていきます。

平成23年度 事業評価

事業名	外国につながる子どもの学習支援及び 預かり保育事業	予算 科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	社会教育総務費
			中事業	外国につながる子どもの学習支 援及び預かり保育事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	健全育成活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	津市に在住している外国につながる子ども達を対象に、不就学の子どもに対しては午前中から母語による学習支援活動を行い、日本の学校に通う子ども達には放課後、母語での学童保育を行います。保護者の経済的事情によって、ブラジル学校を退校している、あるいは退校を考えている多くの子ども達の受け皿として、母語による教育を受ける権利を保障するとともに、保護者（外国人定住者）に勤務しやすい状況を作り出すことを目的とします。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	0	26,556	26,762	——
	補正予算額（流用額）	16,528	0 (0)	0 (0)	——
	補正（流用）後予算額	16,528	26,556	26,762	——
	決算額	16,528	26,556	26,762	——
前年度比較による 事業費の増減理由			21年度は7月より 事業実施、22年度 は4月実施のため	社会保険料改定によ る予算計上の増額	——

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		外国人失業者の雇用 者数	外国人失業者の雇用 者数	外国人失業者の雇用 者数	——
指標設定 の考え方	平成21年度～	外国につながる子どもの学習支援に係るブラジル人学校の運営のために、外国人失業者を 雇用するため、その人数を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	9 人	9 人	9 人	——
	実績値（単位）	9 人	9 人	9 人	——
指標に対する実績		本事業の実施によっ て、失業者9名の雇 用を果たすとともに 外国につながる子ど もたちの教育の機会 を保障するとともに 母語保持することが できました。	本事業の実施によっ て、失業者9名の雇 用を果たすとともに 外国につながる子ど もたちの教育の機会 を保障するとともに 母語保持することが できました。	本事業の実施によっ て、失業者9名の雇 用を果たすとともに 外国につながる子ど もたちの教育の機会 を保障するとともに 母語保持することが できました。	——

5 推進状況

失業者9名の雇用を果たしたことや学校から事業所までの子ども達の送迎などの外国につながる子どもの学習支援体制を整えることができました。また、就職状況の厳しい外国人失業者を雇用し、外国につながる子どもの母語保持や日本社会に適応するための日本語教室など支援することができました。この事業により外国につながる子どもたちに教育を受ける機会を保障し不就学を減らすことができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	教育集会所管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	教育集会所費
			中事業	教育集会所管理運営事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の充実
		施策	地域における人権教育の推進
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	教育集会所を中心として、人権問題にかかる学習会や人権教育講演会等を開催し、地域における人権意識の高揚に努めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	35,149	33,282	47,626	44,849
	補正予算額（流用額）	▲1,793 (0)	▲540 (0)	28,159 (0)	—
	補正（流用）後予算額	33,356	32,742	75,785	—
	決算額	31,384	30,879	49,591	—
前年度比較による事業費の増減理由		教育集会所において公共下水道への接続工事を行ったことによる増額	教育集会所において公共下水道への接続工事終了による減額	県道拡幅工事に伴う教育集会所の新築工事等補正予算計上による増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		地域における人権学習会や小集会への参加者数	地域における人権学習会や小集会への参加者数	地域における人権学習会や小集会への参加者数	地域における人権学習会や小集会への参加者数
指標設定の考え方	平成21年度～	人権意識の高揚を図るために開催する、教育集会所等において実施した人権学習会等の参加者数を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	4,100 人	4,400 人	4,700 人	5,000 人
	実績値（単位）	4,329 人	4,102 人	4,252 人	—
指標に対する実績		地域の課題に応じて学習を行うことができました。	地域の課題に応じて学習を行うことができました。	地域の課題に応じて学習を行うことができました。	—

5 推進状況

地域の課題に応じて学習会を行うことができました。今後は、学習方法、回数等について検討を行い人権を考えるワークショップ等を取り入れて学習内容を充実させていくとともに、参加者の交流の機会を設定していきます。

平成23年度 事業評価

事業名	社会教育関係事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 社会教育関係事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実践
		施策	学習環境の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	社会の急激な変化に伴い、地域住民の多様化・高度化した学習要求に対応した社会教育の振興をめざすこと及び(財)津市社会教育振興会への指導・助言を通じて、心身ともに健全で情緒豊かな青少年の育成を育むことを目的としています。 なお、平成24年度より大事業の社会教育関係事業と生涯学習振興事業を一本化し、更に中事業についても社会教育関係事業、子ども読書の街づくり推進事業及び生涯学習振興事業(久居事務所)を廃止し、生涯学習振興事業に統一します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	30,506	31,041	29,418	――
	補正予算額(流用額)	0 (0)	▲ 279 (0)	▲ 608 (0)	――
	補正(流用)後予算額	30,506	30,762	28,810	――
	決算額	30,132	30,554	28,660	――
前年度比較による事業費の増減理由		(財)津市社会教育振興会の組織強化を目的に職員の採用を行ったため増	(財)津市社会教育振興会への補助金増額のため	(財)津市社会教育振興会への補助金減額のため	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		津市生涯学習振興計画の進捗状況の把握	津市生涯学習振興計画の進捗状況の把握	津市生涯学習振興計画の進捗状況の把握及び後期計画への反映	――
指標設定の考え方	平成21年度～	津市生涯学習振興計画の進捗状況の把握を行うことにより、「学習環境の充実」「地域の人材育成」「施設の整備・充実」が図れているかどうかを検討できると考えています。			
数値目標	目標値(単位)	――	――	――	――
	実績値(単位)	――	――	――	――
指標に対する実績		概ね事業の実施ができました。	概ね事業の実施ができました。	概ね事業の実施ができました。	――

5 推進状況

社会教育委員の会議において、平成23年度事業の検証、平成24年度事業の実施計画の検討及び、社会教育事業の効果的な推進に努めることができました。 (財)津市社会教育振興会への支援強化により、津市青少年野外活動センターの効率的な管理運営、質の高いサービスによる青少年教育の推進に努めることができました。 以上の評価・課題について、今後は事業を統一した「生涯学習振興事業」に継承します。

平成23年度 事業評価

事業名	生涯学習振興事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	社会教育総務費
			中事業	生涯学習振興事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実績
		施策	地域の人材育成
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	市民一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送るため、市民が主役となる生涯学習の振興を目指すとともに、社会教育関係団体の活動を支えることで、地域の活発な生涯学習活動を目指します。学校施設及び旧学校施設を開放することにより地域住民の活動を支援します。 なお、平成24年度より大事業の社会教育関係事業と生涯学習振興事業を一本化し、中事業については、当該事業に社会教育関係事業、子ども読書の街づくり推進事業及び生涯学習振興事業（久居事務所）を吸収し統一します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	19,992	17,209	18,255	61,054
	補正予算額（流用額）	26,235 (▲1)	▲ 539 (▲230)	▲ 870 (0)	—
	補正（流用）後予算額	46,226	16,440	17,385	—
	決算額	39,427	15,482	16,635	—
前年度比較による 事業費の増減理由		学校体育施設開放事業が含まれたため増	21年度は旧学校施設の改修工事があり、22年度では大規模修繕がなかったため減	学校体育施設に関わるグラウンド設備の修繕の増及び旧学校施設の耐震工事実施設計業務委託をしたための増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		生涯学習環境の充実	生涯学習環境の充実	生涯学習環境の充実	生涯学習環境の充実
指標設定の考え方	平成21年度～	社会教育団体の育成や学校体育施設の開放による生涯学習活動の場の提供等の施策の効果を検証できると考えます。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		生涯学習振興計画に基づく、当該年度の実施計画の実施	生涯学習振興計画に基づく、当該年度の実施計画の実施	生涯学習振興計画に基づく、当該年度の実施計画の実施	—

5 推進状況

津市PTA連合会等の社会教育関係団体への支援を通じて、地域や学校での指導的な役割を担う人材の育成を図りました。今後一層の社会教育関係団体の自立支援を促す必要があります。各学校施設の効率的な使用について、利用団体相互の理解によるところが大きく、今後も利用者の協力が必要です。また、旧学校体育施設の適正な維持管理に努め、美杉多気体育館の耐震補強計画実施設計業務を行いました。
なお、平成24年度より社会教育関係事業及び子ども読書の街づくり推進事業と統一することから、社会教育関係事業の評価・反省を踏まえた事業を推進（拡充・充実）します。

平成23年度 事業評価

事業名	子ども読書活動推進事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 子ども読書の街づくり推進事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	地域の人材育成
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市生涯学習振興計画、津市子ども読書活動推進計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	子どもの読書活動の重要性にかんがみ、子どもが自主的な読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を図るため、行政と市民が協働して、すべての子どもが自主的に読書活動に親しむことにより、豊かな心や未来を拓く力をもった人づくりに資することを目的として事業を実施します。事業の見直しにより、当該事業は、平成24年度より生涯学習振興事業（中事業）に編入（予算2,093千円）されます。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	455	921	1,482	――
	補正予算額（流用額）	3,145 (1)	2,951 (0)	▲ 400 (0)	――
	補正（流用）後予算額	3,601	3,872	1,082	――
	決算額	3,601	3,871	983	――
前年度比較による事業費の増減理由		文部科学省の委託事業の受託による増	子どもゆめ基金の委託事業受託による増	子どもゆめ基金の委託事業が受けられなかったため	――

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		読書が好きな子どもの割合	読書が好きな子どもの割合	読書が好きな子どもの割合	――
指標設定の考え方	平成21年度～	読書の好きな子どもの割合を継続的に把握することによって、すべての子どもたちが豊かな心や未来を切り拓く力を持った人間として育つための読書環境整備の進捗状況を知ることができると思います。			
数値目標	目標値（単位）	80 %	82 %	82 %	――
	実績値（単位）	82 %	82 %	80 %	――
指標に対する実績		事業実施の効果がありません。	事業実施の効果がありません。	概ね事業実施の効果がありません。	――

5 推進状況

各事業の実施により、子どもの読書活動推進に関心を持たせることができました。今後も地域のボランティアの協力のもと、子どもだけでなく大人への読書活動の充実を図っていく必要がある。また、多くの参加、出品があった「手づくり絵本教室」及び「手づくり絵本コンクール」を引き続き開催していきます。なお、平成24年度より当該事業は、生涯学習振興事業の中の施策として実施します。

平成23年度 事業評価

事業名	放課後児童健全育成事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 放課後児童健全育成事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	放課後児童対策の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市青少年健全育成推進方針、津市青少年健全育成推進計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	小学校に就学している昼間保護者のいない家庭の児童（放課後児童）に遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図るとともに、女性の就労の増加や少子化が進行する中、子育て支援の充実を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	305,254	207,671	194,880	221,922
	補正予算額（流用額）	▲ 22,426 (0)	16,278 (0)	11,768 (0)	—
	補正（流用）後予算額	282,828	223,949	206,648	—
	決算額	261,948	221,431	204,672	—
前年度比較による事業費の増減理由		5つの大規模分割のための施設整備費用増額	運営費補助にかかる国県基準の大幅な引き上げがあり、増額補正を行った。	障がい児3人以上受入した場合の運営費補助金の追加交付やAED購入補助金、緊急地震速報装置の設置のための増額補正を行った。	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		放課後児童クラブの数	放課後児童クラブの数	放課後児童クラブの数	放課後児童クラブの数
指標設定の考え方	平成21年度～	子育て支援の施策として、放課後の児童の居場所づくりを進めることは大切なことであり、市内の必要な地域に放課後児童クラブを設置を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	43 施設	46 施設	46 施設	47 施設
	実績値（単位）	43 施設	45 施設	45 施設	—
指標に対する実績		放課後児童数の増加に伴う、大規模クラブの狭小化を解消することができました。	放課後児童クラブを新規に開設した2クラブを加えた45クラブの運営に対する支援の継続及び周辺地域の小規模クラブの施設整備を行いました。	放課後児童クラブが無い小学校区に社会福祉法人が新設を行ったが、児童数が補助基準額に満たなかったため、運営費補助金の支援がなかった。	—

5 推進状況

運営に対する財政支援継続に加え、障がい児加算追加により充実化を図ることができました。また地震等に備えて転倒防止金具の配布や保育中に起こり得る突然の心停止に備えてAEDを設置することにより児童の安全管理対策を施すことができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	青少年対策事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 青少年対策事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	健全育成活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市青少年健全育成推進方針、津市青少年健全育成推進計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	青少年の健全育成を目的とした津市青少年問題協議会を開催し、行政・関係機関・関係団体との情報交換を推進します。また、学校やPTA、関係機関、関係団体の代表者からなる中央青少年育成指導員による中央街頭指導の充実を図り、「愛の声かけ」に重点を置いた街頭指導活動を推進します。津市子ども会育成者連合会や地区青少年育成団体への支援を通して、青少年育成団体の育成と活動の充実を図り、青少年の健全育成と非行防止の市民運動化を進めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	21,342	20,783	21,173	20,345
	補正予算額（流用額）	▲ 291 (0)	▲ 570 (0)	▲ 1,025 (0)	—
	補正（流用）後予算額	21,051	20,391	20,148	—
	決算額	20,469	19,989	19,964	—
前年度比較による 事業費の増減理由		青少年育成市民会議 及び子ども会育成者 連合会活動補助金の 減額	青少年育成市民会議 及び子ども会育成者 連合会活動補助金の 減額	備品（デジタル印刷 機）購入及び子ども 会育成者連合会活動 補助金（東海北陸地 区子ども会育成研究 協議会助成金分）の 増額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		「愛の声かけ」回数	「愛の声かけ」 「注意・指導」回数	「愛の声かけ」 「注意・指導」回数	「愛の声かけ」 「注意・指導」回数
指標設定 の考え方	平成21年度～	問題行動の未然防止を図るうえで大切なものであると考え、中央街頭指導、青少年センター街頭指導、地区街頭指導における「愛の声かけ」、「注意・指導」の回数を成果指標として設定しました。			
数値目標	目標値（単位）	6,000 回	4,000 回	4,000 回	7,500 回
	実績値（単位）	5,137 回	3,262 回	7,359 回	—
指標に対する実績		少子化傾向、学習塾などの習い事に通う子どもの増加傾向、家庭内でのゲームなどに興じる傾向などから、公園や市街地で声をかける子どもの数が減ってきているため、青少年育成指導員は熱心に活動しているが「愛の声かけ」回数は目標に到達できませんでした。	少子化傾向、学習塾などの習い事に通う子どもの増加傾向、家庭内でのゲームなどに興じる傾向などから、公園や市街地で声をかける子どもの数が減ってきているため、青少年育成指導員は熱心に活動しているが「愛の声かけ」回数は目標に到達できませんでした。	中央青少年育成指導員や青少年センター相談員が積極的に青少年への声かけ活動を行いました。	—

5 推進状況

「愛の声かけ」を中心に非行防止の取組を行い、青少年の健全育成に努めることができました。今後、青少年の動向も十分ふまえ、声をかける場所等については柔軟に対応していきます。

「子どもSOSの家」事業の周知・啓発に努め、市内全域において、3、666軒の協力を得ることができました。また、地域の実情をふまえつつ、市全域で一体感を持った青少年健全育成活動が可能となるよう支援することができました。

洋上教室や子ども会大会等、子どもたちが参加できる行事を行いながら、改めて、子ども会活動の持つ意義等について、育成者の中で共通理解を図る取組を進めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	青少年センター管理運営事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 社会教育総務費
			中事業 青少年センター管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	非行防止活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市青少年健全育成推進方針、津市青少年健全育成推進計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	小・中・高校生を中心とした青少年に対し、青少年センター相談員・職員による街頭指導活動や啓発活動、電話・面接相談・メール相談などの青少年相談、学校と連携した招致相談を行い、青少年の問題行動の早期発見・未然防止を図ります。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	42,582	41,906	42,007	33,396
	補正予算額（流用額）	▲ 1,151 (0)	▲ 150 (0)	▲ 330 (0)	—
	補正（流用）後予算額	41,431	41,756	41,677	—
	決算額	40,477	40,726	41,110	—
前年度比較による 事業費の増減理由		前年度並みの執行	前年度並みの執行	前年度並みの執行	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		青少年に関する相談件数	青少年に関する相談件数	青少年に関する相談件数	青少年に関する相談件数
指標設定 の考え方	平成21年度～	青少年の悩みや問題行動に対して相談にのことは、青少年の健全育成にとって重要なことであることから成果指標に設定しました。			
数値目標	目標値（単位）	120 件	120 件	120 件	120 件
	実績値（単位）	118 件	67 件	93 件	—
指標に対する実績		学校をはじめ、保護者、青少年からの相談を受け、教育研究支援課や児童相談所と協力しながら丁寧に対応することにより、問題行動の未然防止に寄与することができました。 また、メール相談は61件を数え、1.5倍の伸びを示し、青少年の悩み解決の一助として、成果をあげることができました。	学校をはじめ、保護者、青少年からの相談を受け、教育研究支援課と協力しながら丁寧に対応することにより、問題行動の未然防止に寄与することができました。 また、メール相談は37件と少なかったものの、慎重に対応し、青少年や保護者の悩み解決の一助として、成果をあげることができました。	学校をはじめ、保護者、青少年からの相談を受け、教育研究支援課と協力しながら丁寧に対応することにより、問題行動の未然防止に寄与することができました。 また、メール相談は50件と昨年度よりも増加し、青少年や保護者の悩み解決の一助として、成果をあげることができました。	—

5 推進状況

青少年の問題行動の早期発見や早期対応に心がけ、継続的な相談業務に取り組むことができました。また、青少年サポート会議等の場で取組の方法を協議するなど、問題解決への手がかかりについて共通認識を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	成人式関係事業	予算科目	款 教育費 項 社会教育費 目 社会教育総務費 中事業 成人式関係事業
-----	---------	------	--

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	健全育成活動の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市青少年健全育成推進方針、津市青少年健全育成推進計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	自立した社会人として、責任ある態度を持ち、より良い社会を築くために貢献しようとする津市の新成人を祝い励ます式を開催します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	3,157	3,095	3,295	3,674
	補正予算額（流用額）	▲ 53 (0)	0 (0)	▲ 150 (0)	—
	補正（流用）後予算額	3,104	3,095	3,145	—
	決算額	3,042	2,883	3,120	—
前年度比較による事業費の増減理由		成人式の記念品配付を止めたことによる減	前年度並みの執行	成人式会場借上料が増額となったため	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		成人式の出席率	成人式の出席率	成人式の出席率	成人式の出席率
指標設定の考え方	平成21年度～	津市の成人としての一体感の醸成「みんながひと津に」の意味からも、魅力ある成人式にすることは出席率に現れるものとして出席率を指標設定しました。			
数値目標	目標値（単位）	80.0 %	80.0 %	80.0 %	80.0 %
	実績値（単位）	76.0 %	74.1 %	73.1 %	—
指標に対する実績		出席率は平成20年度から若干低下しましたが、新成人の対象人数が3,000人を超える中、出席率76.0%は近隣の市と比較しても低い数字ではないと考えます。 地元津市出身の歌手「うたまる」によるミニコンサートと実行委員会主催の抽選会も注目を集めました。	出席率は平成20年度から徐々に低下しています。地元津市出身の歌手「あつ」によるミニコンサートと実行委員会主催の「ドン小西」さんのトークショーを実施し、大いに盛り上がったとともに大きくメディアにも取り上げられ、意義のある式を実施できました。	出席率は平成20年度から徐々に低下しています。式典を1部、成人式実行委員会主催を2部として成人式を開催しました。2部では、津市の高校に通っていたビーチバレー選手の浅尾美和さんのトークショーと三重大学応援団のみなさんによる新成人への激励のエンゲルを実施しました。	—

5 推進状況

市域全体による1か所開催も5年目となり、市民にも定着したと言えます。
式当日の交通渋滞・駐車場の誘導・暴挙に走る成人の防止には一定の成果ができました。
式の企画・運営を成人式実行委員中心に進めることは、今後も継続させていきますが、式の簡素化についても検討していきます。

平成23年度 事業評価

事業名	公民館管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	公民館費
			中事業	公民館管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	学習施設の整備、充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン、津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	地域における生涯学習の拠点として、施設内の安全で快適な学習環境を整備し、市民が安心して学習活動等ができるように適切な管理運営に努めます。また、緊急災害時に避難所となっている施設が多いことから、緊急度の高い施設から優先的に改修を進めます。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	198,168	216,731	212,093	410,314
	補正予算額（流用額）	7,990 (0)	3,982 (0)	9,226 (0)	—
	補正（流用）後予算額	206,158	220,713	221,319	—
	決算額	195,847	200,785	209,307	—
前年度比較による事業費の増減理由		耐震補強事業や各種補修工事の増による。	耐震補強事業や各種補修工事の増による。	耐震補強事業や各種補修工事の増による。	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		公民館施設の耐震化度	公民館施設の耐震化度	公民館施設の耐震化度	公民館施設の耐震化度
指標設定の考え方	平成21年度～	旧耐震基準に基づいて昭和56年5月31日以前に建設された施設について、耐震診断を実施しており、その結果補強を必要とする施設について、早期に耐震補強工事等の対策を講じ、安全安心な施設利用を促進します。対象施設は教育委員会所管の独立した公民館施設20施設で、平成29年度耐震化率100パーセントを目指しましたが、対象施設が既に耐震調査済みである元取公民館の講堂部分が未調査であったのと、旧一志中央公民館を追加したことから、平成22年度より対象施設を21館とし、目標値を改めます。			
数値目標	目標値（単位）%	90%	86%	90%	95%
	実績値（単位）%	75%	76%	76%	—
指標に対する実績		片田・橋南・豊里・倭公民館の診断結果は、片田不要、豊里、橋南、倭が要改修となる。（20館中15館が耐震済）	橋南、久居は耐震補強工事。 豊里は耐震補強計画策定。 旧一志中央・元取（講堂）耐震診断。（21館中16館が耐震済）	豊里 耐震補強工事実施設計。 倭 耐震補強計画策定。 （21館中16館が耐震済） 元取講堂は公民館以外の分類となるため、21館中17館が耐震済	—

5 推進状況

利用者が安全に安心して利用できるよう、緊急度の高い公民館施設から優先的に改修を進めるとともに、公民館総合補償制度への加入など公民館管理事業を計画的かつ効果的に行うことができました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	公民館講座等関係事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 公民館費
			中事業 公民館講座等関係事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	学習環境の充実
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン、津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	あらゆる年代や地域の多様なニーズに対応するため、地域的、社会的課題をテーマとした課題講座、市民の生きがいづくりや自己実現を支援する教育講座、バスを活用した講座を含め、魅力ある公民館講座および市政教室を開催します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	58,725	57,430	55,502	55,101
	補正予算額（流用額）	▲2,167 (0)	▲9,090 (0)	▲3,120 (0)	—
	補正（流用）後予算額	56,558	48,340	52,382	—
	決算額	53,552	46,292	49,535	—
前年度比較による 事業費の増減理由		行政関係の無料講師 やボランティア講師 の活用等による減	行政関係の無料講師 やボランティア講師 の活用等による減	公民館講座数の増加	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		(仮称) 公民館運営 懇話会の開催	(仮称) 公民館運営 懇話会の開催	(仮称) 公民館運営 懇話会の開催	(仮称) 公民館運営 懇話会の開催
指標設定 の考え方	平成21年度～	市民ニーズを反映した公民館講座の運営を行うため（仮称）公民館運営懇話会の開催状況を指標とします。			
	平成24年度～	公民館活動の充実を図るため、公民館講座数の増を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	10 館	10 館	10 館	570 講座
	実績値（単位）	6 館	6 館	6 館	—
指標に対する実績		更に地域に根差した 活動をしている地区 公民館への働きかけ を進めます。	公民館組織の体系を 見直したことから、 地域公民館の役割を 更に強化します。	公民館組織の体系を 見直したことから、 地域公民館の役割を 更に強化します。	—

5 推進状況

受講成果が地域等に還元できる課題講座を開催するなど、講座の内容の充実を図ることで市民ニーズに応じることができました。また、公民館講座修了生による自主講座も活発に行われ、主体的な学習活動の支援に努めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	文化財保護活用事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 文化財保護費
			中事業 文化財保護活用事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	文化財を後世に伝え、これを活用することを目的として、文化財の指定、指定文化財の修理事業などに対する補助金の交付、史跡谷川土清旧宅の公開や説明板の整備、パンフレットの刊行などを通じて文化財の啓発事業を行います。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	57,411	69,324	52,107	61,407
	補正予算額（流用額）	9,687 (0)	▲13,759 (▲901)	130 (0)	—
	補正（流用）後予算額	67,098	55,664	52,237	—
	決算額	64,763	52,682	50,164	—
前年度比較による 事業費の増減理由		津城跡整備活用事業 等の増加など	津城跡整備活用事業 の入札差金等による 減額など	津城跡石垣測量調査 の入札差金等による 減額など	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		指定文化財・登録文化財数	指定文化財・登録文化財数	指定文化財・登録文化財数	指定文化財・登録文化財数
指標設定 の考え方	平成21年度～	指定・登録文化財数を指標とすることによって、地域の歴史・文化についての調査研究の進み具合を見ます。			
数値目標	目標値（単位）	404 件	408 件	412 件	416 件
	実績値（単位）	406 件	408 件	410 件	—
指標に対する実績		1件の文化財について、市指定文化財に指定することができた他、国指定文化財2件、県指定文化財1件、国登録文化財1件の追加により5件増加しました。	1件の文化財について、市指定文化財に指定することができた他、国登録文化財1件の追加により2件増加しました。	1件の文化財について、市指定文化財に指定することができた他、国指定文化財1件の追加により2件増加しました。	—

5 推進状況

修理が必要な文化財や無形文化財などの伝承活動に対して補助を行うことにより、これらを後世に残すことができ、パンフレットや説明板の設置を行うことによって、文化財の普及公開に役立てることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	文化財保護管理事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 文化財保護費
			中事業 文化財保護管理事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	歴史と文化の拠点形成プログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	国指定史跡谷川士清旧宅をはじめ、坂本山古墳など所管する文化財や、上津部田城址その他文化施設等駐車場の適正な維持管理を行い、文化財等の公開を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	17,938	16,926	17,073	18,352
	補正予算額(流用額)	0 (0)	0 (902)	0 (0)	— —
	補正(流用)後予算額	17,938	17,828	17,073	— —
	決算額	17,340	17,525	16,131	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		谷川士清旧宅隣接地 購入に伴う旧宅壁面 の応急修理費の増加	前年度並みの執行	史跡維持管理業務委 託の入札差金、大規 模修繕がなかったた め	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		適正な維持管理	適正な維持管理	適正な維持管理	適正な維持管理
指標設定 の考え方	平成21年度～	適正な維持管理を行い、文化財の一般公開や活用を図ります。			
数値目標	目標値(単位)	— —	— —	— —	— —
	実績値(単位)	— —	— —	— —	— —
指標に対する実績		適正な維持管理がで きました	適正な維持管理がで きました	適正な維持管理がで きました	— —

5 推進状況

谷川士清旧宅、古墳などの文化財について、年間を通じて適切な維持管理を行い、市民に文化財と触れる環境を提供することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	埋蔵文化財保護活用事業（単独）	予算科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	文化財保護費
			中事業	埋蔵文化財保護活用事業（単独）

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	歴史と文化の拠点形成プログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	市内に所在する埋蔵文化財の保護措置協議や試掘・確認調査等、刊行物の作成等を通し、埋蔵文化財の保護・活用を推進します。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	7,429	14,451	8,425	8,258
	補正予算額（流用額）	0 (▲3)	▲325 (▲38)	0 (▲119)	—
	補正（流用）後予算額	7,427	14,088	8,306	—
	決算額	7,355	13,785	7,458	—
前年度比較による 事業費の増減理由		市公共事業に伴う発掘調査報告書作成事業費の減額	多気北畠氏遺跡調査研究事業費の増額	多気北畠氏遺跡調査研究事業費（発掘調査）の減額	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		適正な保護管理	適正な保護管理	適正な保護管理	適正な保護管理
指標設定 の考え方	平成21年度～	埋蔵文化財の適正な保護管理を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		埋蔵文化財保護と普及啓発が実施できました。	埋蔵文化財保護と普及啓発が実施できました。	埋蔵文化財保護と普及啓発が実施できました。	—

5 推進状況

各種開発行為等に係る埋蔵文化財の有無の確認への対応、開発事業者との保護措置協議や試掘・確認調査等に迅速に対応するとともに、普及啓発事業や刊行物作成事業を通し、埋蔵文化財の活用・公開を図ることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	埋蔵文化財保護活用事業（補助）	予算科目	款 教育費 項 社会教育費 目 文化財保護費 中事業 埋蔵文化財保護活用事業（補助）
-----	-----------------	------	---

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	国史跡の追加指定に向けた多気北畠氏遺跡発掘調査、市内遺跡試掘・確認調査、詳細遺跡分布地図作成、出土遺物の保存科学処理等を国庫補助金を受けて実施します。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	11,385	11,791	13,191	4,512
	補正予算額（流用額）	0 (3)	▲2,000 (0)	0 (119)	—
	補正（流用）後予算額	11,388	9,791	13,310	—
	決算額	11,388	9,692	13,303	—
前年度比較による事業費の増減理由		多気北畠氏遺跡第32次発掘調査に係る事業予算の増額のため	詳細遺跡分布地図印刷製本費、薬師谷古墳群ほか出土遺物保存処理委託に入札差金が生じたため減	多気北畠氏遺跡霧山城跡地形測量調査などの増額のため	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		適正な保護と調査	適正な保護と調査	適正な保護と調査	適正な保護と調査
指標設定の考え方	平成21年度～	埋蔵文化財の適正な保護と調査等を指標とします。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		埋蔵文化財保護活用事業に資する調査及び資料整備の推進ができました。	埋蔵文化財保護活用事業に資する調査及び資料整備の推進ができました。	埋蔵文化財保護活用事業に資する調査及び資料整備の推進ができました。	—

5 推進状況

国庫補助金を受けて実施している多気北畠氏遺跡発掘調査をはじめとする継続事業については、地域の歴史・文化の保護・活用に資する調査及び資料整備を推進することができました。

平成23年度 事業評価

事業名	埋蔵文化財センター管理運営事業 (事務所分含む)	予算 科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 文化財保護費
			中事業 埋蔵文化財センター管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	埋蔵文化財保護活用事業の拠点施設である埋蔵文化財センター及び久居分室、新町文化財保管庫、多気北畠氏遺跡調査分室の維持・管理を行います。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	6,991	9,552	8,013	8,996
	補正予算額(流用額)	0 (0)	▲488 (0)	▲81 (0)	— —
	補正(流用)後予算額	6,991	9,064	7,932	— —
	決算額	6,107	8,011	7,265	— —
前年度比較による 事業費の増減理由		経費削減に努めたため減	久居分室の耐震診断 と新町文化財保管庫 の下水道接続工事の増	新町文化財保管庫の 下水道接続工事分の減	— —

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		埋蔵文化財センター の適正な維持管理	埋蔵文化財センター の適正な維持管理	埋蔵文化財センター の適正な維持管理	埋蔵文化財センター の適正な維持管理
指標設定 の考え方	平成21年度～	埋蔵文化財センター(分室を含む)の適正な維持管理を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
	実績値(単位)	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
指標に対する実績		埋蔵文化財を適正な 環境で整理・保管する ための施設の維持 管理ができました。	埋蔵文化財を適正な 環境で整理・保管する ための施設の維持 管理ができました。	埋蔵文化財を適正な 環境で整理・保管する ための施設の維持 管理ができました。	— — — —

5 推進状況

発掘調査の出土品や記録類を適切な環境で整理・保管するために、施設の維持管理を行いました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業	予算科目	款 教育費 項 社会教育費 目 文化財保護費 中事業 埋蔵文化財緊急発掘調査事業
-----	---------------	------	---

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	民間開発事業に伴い市内遺跡の緊急発掘調査を受託し、遺跡の記録保存を図ります。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	1,814	91	566	346
	補正予算額(流用額)	▲ 694 (0)	0 (38)	▲ 383 (0)	———
	補正(流用)後予算額	1,120	129	183	———
	決算額	954	98	138	———
前年度比較による 事業費の増減理由		開発事業毎に規模・ 内容が異なるため減	開発事業毎に規模・ 内容が異なるため減	開発事業毎に規模・ 内容が異なるため	———

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		緊急発掘調査への適 正な対応	緊急発掘調査への適 正な対応	緊急発掘調査への適 正な対応	緊急発掘調査への適 正な対応
指標設定 の考え方	平成21年度～	民間開発事業に伴う緊急発掘調査等への適正な対応を指標とします。			
数値目標	目標値(単位)	———	———	———	———
	実績値(単位)	———	———	———	———
指標に対する実績		適正な対応ができた。 ました。	適正な対応ができた。 ました。	適正な対応ができた。 ました。	———

5 推進状況

民間開発事業に伴い遺跡の記録保存を図るため、発掘調査を受託し、発掘調査及び発掘調査報告書の刊行を行いました。
--

平成23年度 事業評価

事業名	資料館等管理運営事業（事務所分含む）	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 文化財保護費
			中事業 資料館等管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	市内各地域の歴史を広く周知するため、市内7箇所の資料館等で各種歴史資料を収集・展示し、来館者への展示・啓発を行います。 また、郷土資料の収集や保存修理にも努めています。
-------	---

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	23,215	21,319	124,050	23,113
	補正予算額（流用額）	▲ 183 (183)	4,005 (0)	0 (0)	—
	補正（流用）後予算額	23,032	25,324	124,050	—
	決算額	22,136	24,020	112,080	—
前年度比較による 事業費の増減理由		主に香良洲歴史資料館の耐震補強計画業務委託料を計上したため増	主に香良洲歴史資料館・白山郷土資料館の耐震関係予算を計上したため増	香良洲歴史資料館耐震補強工事、展示改修費の繰越予算を計上したため	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		入館者数	入館者数	入館者数	入館者数
指標設定 の考え方	平成21年度～	入館者数を指標とすることによって、地域の歴史・文化についての関心を知ることができます。			
数値目標	目標値（単位）	25,000 人	25,500 人	26,000 人	26,000 人
	実績値（単位）	19,363 人	22,112 人	17,173 人	—
指標に対する実績		平成21年度は一身田寺内町の館をはじめ、多くの館で入館者数が減少し、3館は現状維持もしくは微増となりました。団体客の減少の影響が大きいものと考えられ、より積極的なPRに努める必要があります。	平成22年度は一身田寺内町の館で入館者増の他は現状維持となりました。団体客の減少の影響が大きいものと考えられ、より積極的なPRに努める必要があります。	香良洲歴史資料館の減少は改修工事のため休館となったため。全体的に減少傾向にあり、より積極的なPRに努める必要があります。	—

5 推進状況

常設展示のほか、ボランティアスタッフや指定管理者による企画展示の実施、またボランティアガイドの活動拠点とすることにより郷土の歴史・文化を知る場を提供することができました。香良洲歴史資料館では耐震補強工事と同時に「戦争と平和」をテーマとした展示改修を行いました。

平成23年度 事業評価

事業名	文化財調査推進事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 文化財保護費
			中事業 文化財調査推進事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	文化の振興
		施策	文化財の保存・継承
		重点プログラム	無し
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン

2 事業の目的・内容

事業の目的	国史跡多気北畠氏城館跡や県史跡津城跡など市内に残る様々な文化財に関係する調査を促進し、史跡の追加指定や整備活用に必要な情報の収集を図るため、地名調査や古文書調査のほか、発掘調査の補助などを文化財調査の促進を図る。
-------	--

3 事業費

事業費		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	—	—	5,363	—
	補正予算額（流用額）	—	—	▲ 1,038 (0)	—
	補正（流用）後予算額	—	—	4,325	—
	決算額	—	—	4,208	—
前年度比較による 事業費の増減理由		—	—	平成23年度新規事業	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		—	—	文化財調査の実施	—
指標設定 の考え方	平成23年度～	具体的な歴史像の解明に向けて継続した調査を実施します。			
数値目標	目標値（単位）	—	—	—	—
	実績値（単位）	—	—	—	—
指標に対する実績		—	—	新たな雇用に創出するとともに、文化財調査を推進することができた。	—

5 推進状況

新規に2人を文化財調査補助員として雇用し、古文書の解読や調査報告の刊行をすることによって、津城下絵図など新たな資料を一般の方に提供することができました。また、多気北畠氏遺跡の地名調査などを通して、基礎資料を得ることができました。平成24年度は、文化財保護活用事業に統一しました。

平成23年度 事業評価

事業名	図書館管理運営事業	予算科目	款 教育費
			項 社会教育費
			目 図書館費
			中事業 図書館管理運営事業

1 計画の位置付け

計 画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	図書館・情報拠点機能の充実
		重点プログラム	元気な人づくりプログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン、津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	市民(市内在勤・在学者を含む)を対象に図書館サービスを提供するため、9館2室の図書館(室)における職員の管理、施設管理、広報活動及び庶務事務等の図書館管理業務を円滑で効率的に行います。
-------	--

3 事業費

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	112,738	111,432	110,604	146,331
	補正予算額(流用額)	▲3,900 (0)	37,031 (0)	▲3,650 (0)	—
	補正(流用)後予算額	108,838	148,463	106,954	—
	決算額	103,517	103,844	135,742	—
前年度比較による 事業費の増減理由		施設修繕料の増	賃金の増 施設修繕料の減 委託料の増 繰越明許費繰越額 41,331千円(23年度へ)	賃金の増 印刷製本費の減 工事請負費の増 繰越明許費繰越額 41,331千円(22年度から)	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		事務の効率化の推進	事務の効率化の推進	事務の効率化の推進	事務の効率化の推進
指標設定 の考え方	平成21年度～	合併後、各図書館が独自に行っていた事務、システム関連の契約事務及び支払い事務を集約するとともに、各図書館の規模に応じた適正な業務・人員配置等の検討を行うことにより、事務の効率化を図ります。			
数値目標	目標値(単位)	—	—	—	—
	実績値(単位)	—	—	—	—
指標に対する実績		図書館情報システム統合館(香良洲、白山)のシステム関連の契約事務を津図書館へ集約しました。支払い事務を津図書館へ一元化しました。	図書館情報システム統合館(久居、河芸)のシステム関連の契約事務を津図書館へ集約しました。支払い事務を津図書館へ一元化しました。	支払い事務等を津図書館に集約しました。	—

5 推進状況

毎月定期的に各図書館職員による会議を開催し、業務全般にわたって話し合うことにより、図書館の円滑な運営及び適切な維持管理を行うことができました。
また、久居ふるさと文学館の空調設備改修工事を行い快適な環境づくりを進めることができました。

平成23年度 事業評価

事業名	図書館活動事業	予算科目	款	教育費
			項	社会教育費
			目	図書館費
			中事業	図書館活動事業

1 計画の位置付け

計画	総合計画	まちづくりの目標	生涯学習スポーツ社会の実現
		施策	図書館・情報拠点機能の充実
		重点プログラム	元気な人づくりプログラム
	個別計画	個別計画	津市教育振興ビジョン、津市生涯学習振興計画

2 事業の目的・内容

事業の目的	図書館利用者からの様々なニーズに応えられるよう、図書館資料の充実や情報・資料提供サービスの充実・強化を図りながら、読書活動の振興に向けた事業を実施し、利用者サービスの向上及び新たな利用者の拡大に努めます。
-------	--

3 事業費

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 (千円)	当初予算額	121,573	116,239	115,768	114,314
	補正予算額(流用額)	▲2,000 (0)	▲2,300 (0)	▲3,000 (0)	—
	補正(流用)後予算額	119,573	113,939	112,768	—
	決算額	118,586	112,993	112,346	—
前年度比較による 事業費の増減理由		委託料の減	事務用機器借上料の減 委託料の減	図書等購入費の増 使用料(データベース等)の減 委託料の減	—

4 指標設定

年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
指 標 名		団体貸出冊数	団体貸出冊数	団体貸出冊数	団体貸出冊数
指標設定 の考え方	平成21年度～	子どもの読書活動の推進を図るため、地域の公共施設や団体、学校等を対象とした団体貸出の利用促進に努めます。			
数値目標	目標値(単位)	64,000 冊	64,000 冊	64,000 冊	64,000 冊
	実績値(単位)	60,312 冊	59,917 冊	53,433 冊	—
指標に対する実績		図書館情報システムの統合に伴い、団体利用者の名寄せ及び各館の貸出限度冊数の調整を行いました。学校等への啓発を行いました。	図書館情報システムの統合に伴い、団体利用者の名寄せ及び各館の貸出限度冊数の調整を行いました。学校等への啓発を行いました。	ボランティアのための養成講座を開催することや学校図書館へ講師派遣をすることで学校図書館を活性化し子どもの読書環境を整え、学校等への団体貸出も充実することができました。	—

5 推進状況

図書資料については、複本購入の見直し、他館との相互利用、利用者の調査・研究に資するための資料の補充及び買い替え等を行い、幅広い資料を提供するとともに、既存資料の汚れや破損についても極力修理を行い、資料の充実を図ることができました。

ホームページ上などで市民に提供するコンテンツを作成するための方法を見直し、効率化を図りました。

合併後5年が経過し、図書館利用者の意向を把握するため、アンケートを実施しました。

図書館行事については、市民の利便性を考慮し、開催場所や内容の検討を行うことにより、身近で来館しやすい環境を作り、また、ボランティアのための養成講座の開催や活動場所の提供等の支援を行うことにより、読書振興を図ることができました。

IV 学識経験者の意見

大田 武士（津市通学区域審議会委員、元津市立小学校長）

津市総合計画（平成20年3月）に基づき、教育計画が策定され逐次実行に移されている。平成20年12月には、津市教育振興ビジョンが策定され、「生きる力」の連続した育成をめざして諸施策が実施されてきている。ここに、教育委員会の積極的、前向きの姿勢が伺える。

重点施策の「輝きプロジェクト」は2年目を迎え、各校への浸透が図られ、成果が出てきているようである。ぜひ、続けていきたい事業である。

地域とともにつくる学校づくりについては、地域学習の中で子どもたち自らが課題を見つけ、意欲的に動き回っている姿が見受けられる。地域を見直し、良さを発見し、歴史を学び、地域住民とのつながりを対話を通じて絆を深めている姿は、ほほえましくもある。

歴史的資源の保存と活用の推進については、測量調査・発掘調査を継続することは大事であるが、もう一步踏み込んで、児童生徒に供するとともに、津市の活性化に向けた方策を示すと更に資源活用が生きるのではないか。

教育活動と環境整備については、平成22年度から継続して「子ども人権フォーラム」が全中学校で開催されていることは素晴らしく、人権教育が確実に広がっている証でもある。特別支援教育への人的配置も大きな前進である。いじめ、不登校問題についても復帰率が49%から55%へと高まったことは、評価されるべきことである。

津市中央学校給食センターが平成23年9月から供用開始となったことは、生徒にとって「給食を通じての仲間づくり」「食材の生産者流通に関わる業者や調理等への感謝の心」等を通して、郷土を愛する心を育てられる大変大きな意義がある。併せて、保護者の大きな喜びであった。

もう1つ大きな事業としては耐震化である。南海トラフの問題があり、急浮上してきた。安全で安心して学習できる校舎になったことは、子どもたちのみならず、地域住民の安心感は計り知れない。2つの大事業を完成させた教育委員会に敬意を表する。

全国学力・学習状況調査については、市民はその数字しか目にできない。数字が出る以上は学力向上に取り組まねばならないし、学力とは総合的なものであることも説明する必要がある。

平成23年度教育方針冒頭に、『3月11日に発生した東日本大震災により、長引く避難生活の中で、小中学生たちが「今、自分にできることは何か」を考え、自らが行動する子どもたち…』とあり、市教育委員会は学校と地域との絆の大切さを改めて考えたとある。教育委員会の学ぶ姿勢、謙虚な姿勢を評価する。

岡本 祐次（津市人権施策審議会委員、元三重短期大学長）

教育は、100年の計といわれる。さらにいえば、常に「新たな無限への挑戦」とでもいえるのかも知れない。平成18年の改正教育基本法の提唱を受け、学習指導要領も「生きる力」（自ら考え、判断し、表現する力）をはぐくむという理念のもと、改定された。これらを踏まえた国や県の教育行政の方向性が定まり、それらを受けて、平成20年12月、「夢をもち、国際社会に生きる自立した元気な人づくり」を標榜する「津市教育振興ビジョン」（以下、ビジョンという。）が策定され、展開の途上にある。

ビジョンは、策定期間を平成29年度までと定め、平成24年までについて前期基本計画と銘うって各論を展開したものである。ビジョンなる個別計画が担う、上位計画・津市総合計画（それは、「生きる力を育む教育の推進」をまちづくりの目標と定め、施策を「教育環境の整備・充実」とする。）は、周知のとおり現在見直しの過程にある。スビジョンも、この間の関係諸動向を見据えた見直し、平成25年度から29年度までの後期（基本）計画策定の時期を迎えている。よって、今回の意見は、必然、このことを念頭においたものとならねばならぬ。ただし、4年間にわたり各論（各課の諸事業）の仔細に係る意見を重ねてきたところでもあり、以下、今回は包括的・大局的に意見を取りまとめておきたい。

平成23年度の教育方針は、東日本大震災の被災地における学校と地域の絆の重みを教訓として、「これまで以上に学校・家庭・地域の連携を深めながら」「『学ぶ力の育成』を目標に掲げた教育施策を進めることにより、子どもたちが自ら直面する課題に立ち向かい、それを乗り越えていく『生きる力』を育てていきたい」と、なっている。ビジョンの基本目標と客観的実情を結合しえた教育委員会の視点は、実に見事である。

見事な視点に立った「重点施策への取組」や如何。1は、「輝きプロジェクト」による主体的学校づくりの推進、2は、地域と共に創る学校づくりの推進、3は、歴史的資源の保存と活用の推進、だとする。これらについての教育委員会の自己点検評価は、こうだ。「教育内容。学校支援関係では、子どもたちの『学ぶ力』の育成をめざし、主体的な学校づくりを推進するため、学校裁量型の『輝きプロジェクト』事業に取り組むとともに、地域の特色を生かした学校の教育活動を充実させるため、地域連携による学校支援体制づくりを推進しました。」と。

「重点施策への取組」の1「学校裁量型の『輝きプロジェクト』事業」及び2「地域と共に創る学校づくりの推進」については、『津市教育振興ビジョン』第2章「学校教育」のうち「信頼される学校づくりの推進」が示す「今後の方向性」を具現化した、とりわけ注目し得る事業と考えられる。「教育総合支援事業」では、「教育内容の向上を図るため、学校・園が組織として教育力を高め、地域・保護者との共同による子どもたちの『学ぶ力の育成』をめざした持続的な教育活動の取組を支援します。」とし、「教育研究推進事業」では、「新たな教育課題の解決等に向けた実践をモデル校において行い、その成果を全市に還元することで、本市の学校教育の充実を図ります。」としている。また、「各小学校において、総合的な学習の時間をはじめ、特別活動等、子ども・保護者・地域の特性やニーズを取り入れた独自の学習活動を展開するなど、特色ある学校づくりが求められています。」そこで、「各学校の特性を活かした取組が実施されるとともに、地域や保護者と連携した活動が実施されました。また、各学校において、中間期に事業評価を行いながら、学校の自

主的な教育活動を展開することができました。」としている。有り様(功)は真に結構である。

くどいと思いつつ、これだけ引用をもって示しておけば、あらゆる他の分野にわたるビジョンと諸施策と事業展開への取組の周到さは、察して余りあり、一目瞭然であろう。とはいえ、あくまで教育は、100年(ある意味で永遠)の計であり、即効薬は見つけにくい。「学ぶ力の育成」(リテラシーの育成)のために、地域・保護者との協働による持続的な取組には文句はない。ただ、注意を施して欲しいことがある。そこで各課各事業の直接の評価に代えて、自説・私見の一端を披瀝し、一提言として記しておきたい。

地域性をと、ゲストティーチャーに地域の著名人を招いてしめ縄作りの指導をえたとせよ。子どもたちは、初めてのわら細工を楽しみ、かなりの出来栄に満足、お正月のしめ飾りにと得意気だ。実際TVの画像で確認したのだが、指導者は、右捻(ヨ)り縄を教えていた。体得しているのは、しめ縄は、左捻(ヨ)り縄であるし、天下の広辞苑も「左捻(ヨ)りを定式」とし図まで記している。いわれがあるに相違ない。折角、総合的な学習・特別活動の時間に展開された独自の学習活動であれば、関係教職員には、その辺りにまで子どもたちの関心を深め、体得できる喜びを教示してやって欲しい。さらには、宮沢賢治とともにしめ縄の各部が何を意味しているのかをたずね、「太いしめなわの本体は雲、細く下がっているのは雨(そして白いごへいは稲妻<これは、害虫駆除やチッソの分解と地中への浸透役だ。>)」を表しています。」と、宮沢文学にまで視野を広めうれば、万々歳ではなからうか。連携の輪も学校図書館や公共図書館にまで広めての地域一体型教育として。

ビジョンの方向性は、新学習指導要領を踏まえ、教育内容の充実に関連して、「学ぶ楽しさを味わう授業づくりの推進」を標榜し、さらに明確な目的意識に則った自己の進路の選択・決定できるよう、「キャリア教育」を推進するという。それらに対する対処策は、出前授業(私は押し売り出前授業という。)の安易な受け入れ、農業体験学習、工場見学の取り入れが盛んであるやにきく。結構なことだ。しかるに、出前は、注文(事前準備)あつての物種であるし、現下の米作り作業様式とは全く異なる人手による田植えを体験させ、本当の「おもしろさ」を体得させるには、各般にわたる関係教職員の下準備の万端が強く要請される。工場見学にも同じことがいえる。ことほどさように、各種研修もさることながら、教育の専門家たる関係教職員には、カリキュラム作成に対する自助努力こそが自己の真の教育力の向上につながるものと、認識して欲しい。

最後に、私が会長として参画する津市の審議会の一つ「津市人権施策審議会」における「人権教育」に関する評価・提言の一端を一瞥(べつ)しておきたい。

津市人権施策審議会では、とりわけ、「こどもの人権」に係る事業評価として、地域ふれあい事業、子育て支援事業、スクールカウンセラーの充実、特色ある学校づくりの推進、子どもの権利条例作りに対する積極的な事業展開等一定の成果を上げているとする。また、今後の取組に関しては、平成26年(不詳)の策定予定の「子どもの権利条例」の支柱ともなるであろう1994年批准の「子どもの権利条約」の4支柱、「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」及び「参加する権利」に基づいた「こどもの人権」保障の早期具現化を強く希望するとしている。このように。

山田 康彦（三重大学教育学部教授、津市文化振興審議会会長）

津市教育委員会は平成 20 年 12 月に「夢を持ち、国際社会に生きる自立した元気な人づくり」を基本目標に「生きる力」の連続した育成をめざした「津市教育振興ビジョン」を策定し、それに基づく多様な教育施策を着実に進めてきている。

平成 23 年度に取り組んだ事業の中で特に顕著な成果として指摘できるのは、一つには学校の物的環境の整備の進展である。学校施設耐震補強事業は、年次計画を立て、例年目標を上回る達成率で進められ、ついに平成 23 年度に完了し、耐震化率 100%を達成した。また内外から強く求められていた市内全小中学校での学校給食の実施が、中央学校給食センターの設置によって平成 23 年 9 月から実現した。さらによりよい学習環境を提供することを目的とする学校の適正配置も着実に進められ、統合後に利用される学校を補正予算も組んで改修したり、児童などがスムーズな移行ができるような措置（小学校統合ウオームアップ事業）も考案され実施された。このように計画的に進めることが求められる学校の物的環境の整備が具体的に結実してきたのは大きな成果である。

顕著な成果の二つ目の点は、学校の内容面での環境整備の進展である。特に重要な事業として指摘できるのは、それぞれの学校が主体的に教育の向上・改善を進める学校裁量型の「輝きプロジェクト」事業の実施である。この事業は、市全体で一律に目標を設定して達成を求めていくのではなく、学校ごとの特色に合わせて目標を設定して進めるという、学校ごとの目標管理型の取り組みである。そのため学校の教職員が一体となって教育活動の改善・向上を進めやすいという利点を持っている。実際に 1 年間の取り組みでも、子どもたちの自己肯定感や自己有用感が高まったり、地域連携の進展が見られるなどの成果が指摘されている。今後この事業をさらに本格的に充実・発展させるとともに、そこでの多様な成果をより明示できるように工夫し、とりわけ子どもたちの確かな学力の向上にも確実に結びついていくことが求められる。

その他、外国人児童生徒の教育支援として、巡回指導員の派遣、大学と連携しての日本語指導カリキュラム等の開発などの日本語指導体制の充実、さらには母語での学童保育といった母語による教育を受ける権利の保障の試みが実施されたことは、支援の質的充実につながる取り組みとして評価される。また平成 22 年度から引き続いて全中学校区に図書館司書を配置し読書活動が促進され、さらに青少年対策事業において「愛の声かけ」「注意・指導」の回数が前年までは目標が達成されていなかったが、平成 23 年度は目標を大きく上回る達成数になっていることなども、特筆される。

これらの成果をふまえ、今後望まれる点をいくつか指摘しておきたい。一つは学力向上の取り組みの充実である。全国学力・学習状況調査の結果をふまえた研究と取り組みが進められているが、特に考慮されなければならないのは活用力などの学力の質の問題である。大学との連携等もさらに利用し、学力の質の向上の強化を図ることが求められる。

また文化財保護事業において、平成 21 年度からの津城跡石垣測量が終了した。文化財保護の観点から、その整備活用の方向が早急に明確にされる必要があり、引き続き整備活用計画の策定が求められる。生涯学習関連分野において、公民館活動の充実、資料館等の入館者数、図書館図書団体貸出冊数等の取り組みで目標が達成されていない。市民が生きがいを持って生活する上で生涯学習分野の施策は重要であり、一層の充実が求められる。

資 料

<参考1> 平成23年度 教育方針

(はじめに)

3月11日に発生した東日本大震災により、長引く避難生活の中で、小学生が幼い子どもたちに絵本を読み聞かせたり、中学生が避難所で支援物資を配るなど、「今、自分にできることは何か」を考え、自らが行動する子どもたち、間借りの校舎でやっと新学期を迎え元気な笑顔を見せる子どもたち、こうした子どもたちの姿が、復興への心の支えになっているという被災地の人々の声を聞き、学校と地域との絆の大切さを改めて考えました。

教育委員会といたしましては、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を深めながら、子どもたちの安全な教育環境の整備や防災教育の推進に努めるとともに、「学ぶ力の育成」を目標に掲げた教育施策を進めることにより、子どもたちが自ら直面する課題に立ち向かい、それを乗り越えていく「生きる力」を育てていきたいと考えます。

(重点施策への取組)

そのために、本年度は、次の3つに重点を置いた施策を推進します。

まず、1点目は「輝きプロジェクト」による主体的な学校づくりの推進です。

各学校では、学習指導要領を踏まえて、子どもの実態や地域の状況に応じた様々な工夫を凝らしながら日々の教育活動に取り組んでいます。

本年度は、各学校がこうした主体的な教育活動にこれまで以上に取り組める学校裁量型の「輝きプロジェクト」事業を推進することにより、子どもたち一人ひとりの特性に応じた、よりきめ細かな「学ぶ力」の育成を図ります。

2点目は、地域と共に創る学校づくりの推進です。

子どもたちを取り巻く状況が大きく変化する中で、子どもたちの「学ぶ力」を育てていくためには、本来の学校の教育活動だけでなく、地域との連携による体験学習など子どもたちの教育活動の幅を広げていく必要があります。

本市では、南が丘小学校や朝陽中学校で実施しているコミュニティースクールをはじめ、高野尾小学校、一身田中学校が取り組む学校支援地域本部事業など、保護者や地域による学校への支援協力が組織的に進められ、そのことによって、学校の教育活動が拡がり、地域が活性化するなどの成果をあげています。

こうした実践を参考に、学校・家庭・地域が一緒になって、学校にとっても地域にとってもプラスになるような関係づくりをこれまで以上に進めていけるよう、各学校への支援や指導助言機能の充実を図ります。

3点目は、歴史的資源の保存と活用の推進です。

市内には、国指定史跡の多気北畠氏城館跡や県指定史跡の津城跡など歴史的

資源が数多く残されています。

これらの歴史的資源を、市民参加のまちづくり事業に活かしていけるよう、津城跡については引き続き石垣測量調査を実施するとともに、多気北畠氏遺跡については、国史跡の追加指定に向けた上多気六田地区の発掘調査など、基本的な調査への取組を進めます。

主な施策を体系別に説明します。

（教育活動の推進）

より実践的な授業研究や教職員の指導力の向上を図るために、三重大学教育学部との相互連携の活用など教職員の研究や研修を促進します。

また、各学校が教育活動に十分に取り組めるよう、特別支援教育支援員や外国人児童生徒巡回担当員、生きる力育成サポーター、スクールカウンセラーなどの人的支援に引き続き努めます。

さらに、いじめや不登校、特別支援教育などへのきめ細かい対応を図るために、各学校への相談や指導体制の充実を図るとともに、子どもたちが望ましい人間関係の中で安心して過ごせるよう人権教育や道徳教育の推進に取り組みます。

また、本市への外国人の定住化が進む中で、全ての教職員が日本語指導や教科指導を行えるよう、外国人児童生徒への日本語教育支援システムの構築を三重大学教育学部と連携して進めます。

一方、近年の少子化に伴う学校の小規模化が進む中で、子どもたちに必要な集団におけるコミュニケーション力や社会性を醸成していく観点から、学校の適正配置への取組を進めます。具体的には、平成24年4月の芸濃小学校の開校に向けた諸準備をはじめ、美里・一志地域の小学校についても、保護者や地域の方々の御意見を十分にお聴きしながら協議検討を進めます。

現在建設中の津市中央学校給食センターの整備については、本年9月から供用開始できるよう事業者との調整を図ります。

また、同センターでは、できるだけ市内産の食材や製品を使用するなど地産地消の推進を図るとともに、栄養教諭等の配置を拡充し、小学校も含めた食教育の一層の充実を図ります。

次に、幼児教育については、幼保一体化の新しい仕組みとして、国による「(仮称) こども園」の制度設計が進められる中で、関係部門とも連携を図りながら、本市の望ましい幼児教育の方向性や幼稚園の適正規模の在り方などについて検討を進めます。

(教育環境の整備)

まず、子どもたちが学校の中で主体的に情報を活用できるよう、普通教室へのパソコン配置を段階的に進めるなど、学校のＩＣＴ（情報通信技術）化を促進します。

また、「学ぶ力」の基礎となる読書活動の重要性から、引き続き学校図書館司書の配置や学校図書の充実を図るなど、読書環境の整備に努めます。

子どもたちの安全・安心を確保するための学校施設の耐震化については、平成２２年度末に完了した幼稚園の耐震化に加え、本年度末には全ての小中学校の耐震化を完了させます。

また、年次的な改修整備としては、学校生活の質の向上を図る観点から、パソコン教室や図書室、遊戯室などへのエアコンの設置や、トイレ改修に重点を置いた整備、建物の耐久性の確保を図るための大規模改造事業を順次進めます。

(生涯学習の推進と地域の教育力)

科学技術の発達や知識基盤社会の進展への対応だけでなく、まちづくりや、人権、福祉、防災、環境問題などの身近な課題への市民の学習ニーズはますます高まってきています。

そのため、教育委員会では、全ての市民が生き生きと学び、健やかで心豊かな人生を送れるよう「いつでも、どこでも、だれもが学ぶことができる」多様な生涯学習機会を提供し、その学習成果を地域の活性化や地域の教育力の向上につなげていきたいと考えます。

こうした生涯学習の推進による地域の教育力が、結果としてコミュニティースクールや学校支援地域本部事業など、学校と地域の連携支援体制の原動力にもなります。

また、子どもと本を繋げる取組として、図書館が実施する「おはなし会」の読み聞かせは、学校図書館のボランティア活動の充実につながり、さらに、子どもから大人まで参加する「津市手づくり絵本コンクール」を継続的に実施することなどで、読書を推進するまちづくりをめざしたいと考えています。

さらに、生活のあらゆる場面において人権を尊重する地域ぐるみの人権文化クリエイト事業についても、将来的には、学校や地域を巻き込んだ幅広い人権教育につなげていきたいと考えています。

(青少年の健全育成)

青少年の健全育成の推進については、放課後児童クラブへの支援拡充を図るとともに、街頭指導など非行防止のための人的配置の拡大を図ります。

また、青少年相談の充実や関係団体の育成など「津市青少年健全育成推進方針」に基づいた計画的な施策展開を進めます。

（公民館活動の推進）

公民館は地域の生涯学習の拠点であるとともに、地域コミュニティの拠点として重要な役割を果たしています。

公民館の組織体系を見直したことにより、本年度は、それぞれの住民ニーズをよりの確に把握し、地域に即した公民館事業を進めます。また、「環境と自然」をテーマとした公民館郷土教室に取り組むとともに、公民館講座で習得した知識や技術を積極的に地域へ発信できるよう推進します。

（図書館）

図書館については、引き続き蔵書や図書館資料の充実を図るとともに、9館2室の図書館情報システムの統合によって強化されたネットワークを活用することにより、これまで以上に利便性の高いサービスを提供します。

（教育施策の推進に向けて）

これらの教育施策を着実に推進し、多様化する諸課題に効率的に対応していくために、事務局内の意識改革への取組を進めるとともに、より効率的で柔軟な推進体制への工夫を図ります。

本年度から、いよいよ小学校において新学習指導要領が全面実施されています。教育委員会といたしましては、国や県の動きをうまく取り込みながら、子どもたちが「知りたい」、「やってみたい」、「できるようになりたい」と自分から意欲的に学習に取り組む学校づくりを推進するとともに、保護者や地域の方々にも参画していただきながら、学びの都「津」を共に創ってまいりたいと考えています。

<参考2> 教育委員会の活動状況

1 津市教育委員会委員名簿

(平成24年2月21日現在)

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	中 湖 喬	平成22年 2月21日 ～ 平成26年 2月20日
委員長職務代理者	石 井 雅 子	平成23年 2月21日 ～ 平成27年 2月20日
委 員	中 西 智 子	平成21年 2月21日 ～ 平成25年 2月20日
委 員	坪 井 守	平成24年 2月21日 ～ 平成28年 2月20日
教 育 長	中 野 和 代	平成22年 3月 3日 ～ 平成26年 3月 2日

※平成24年2月21日 委員長就任

2 教育委員会議での審議状況

平成23年度は合計42件について審議しました。

- | | |
|----------------|------|
| (1) 条例制定及び規則改正 | 7 件 |
| (2) 委員委嘱関係 | 5 件 |
| (3) 予算関係 | 5 件 |
| (4) 人事関係(職員等) | 10 件 |
| (5) 方針、計画関係 | 5 件 |
| (6) その他 | 10 件 |

3 平成23年度 議案一覧

議 案 番 号	議 決 日	件 名
議案第18号	平成23年4月19日	津市スポーツ振興審議会の委員の任命に係る意見について
議案第19号	平成23年4月19日	津市就学指導委員会委員の一部委嘱替えについて
議案第20号	平成23年5月24日	津市通学区域審議会委員の一部委嘱替えについて
議案第21号	平成23年5月24日	津市図書館協議会委員の一部委嘱替えについて
議案第22号	平成23年5月24日	平成23年度津市学校教育推進計画(案)について
議案第23号	平成23年6月7日	平成23年度津市一般会計補正予算(第1号) ＜教委所管分＞について
議案第24号	平成23年6月7日	平成23年度教育方針について
議案第25号	平成23年7月25日	津市教育委員会公印規則の一部の改正について
議案第26号	平成23年7月25日	椋本小学校、雲林院小学校及び安西小学校の開校式並びに芸濃小学校の開校式について
議案第27号	平成23年7月25日	平成24年度使用中学校教科用図書の採択について
議案第28号	平成23年8月2日	県費講師懲戒について
議案第29号	平成23年8月2日	教諭分限について
議案第30号	平成23年8月8日	職員の処分について
議案第31号	平成23年8月25日	平成23年度津市一般会計補正予算(第3号) ＜教委所管分＞について

議案第 3 2 号	平成23年8月25日	美里地域における小中学校の活性化に向けた取組について
議案第 3 3 号	平成23年9月27日	津市就学指導委員会委員の一部委嘱替えについて
議案第 3 4 号	平成23年9月27日	平成 2 3 年度津市教育功労者表彰について
議案第 3 5 号	平成23年9月27日	人事について
議案第 3 6 号	平成23年10月11日	美杉小学校児童の安全確保等について
議案第 3 7 号	平成23年11月24日	津市文化財保護審議会臨時委員の委嘱について
議案第 3 8 号	平成23年11月24日	平成 2 3 年度津市一般会計補正予算（第 6 号） ＜教委所管分＞について
議案第 3 9 号	平成23年11月24日	津市教育委員会点検・評価について
議案第 4 0 号	平成23年11月24日	平成 2 4 年度小中学校教職員人事異動方針（案）について
議案第 4 1 号	平成23年11月24日	津市一身田寺内町の館の指定管理者の指定について
議案第 4 2 号	平成23年11月24日	津市美杉ふるさと資料館の指定管理者の指定について
議案第 1 号	平成24年1月5日	校長の懲戒について
議案第 2 号	平成24年2月21日	教育委員長の選任について
議案第 3 号	平成24年2月21日	教育委員長職務代理者の指定について
議案第 4 号	平成24年2月21日	職員の処分について
議案第 5 号	平成24年2月21日	平成 2 3 年度津市一般会計補正予算（第 8 号） ＜教委所管分＞について
議案第 6 号	平成24年2月21日	平成 2 4 年度津市一般会計予算 ＜教委所管分＞について
議案第 7 号	平成24年2月21日	平成 2 4 年度教育方針について
議案第 8 号	平成24年2月21日	津市図書館協議会条例の一部の改正について
議案第 9 号	平成24年3月8日	教職員の異動内申について
議案第 1 0 号	平成24年3月23日	津市教育委員会事務局組織規則の一部の改正について
議案第 1 1 号	平成24年3月23日	津市教育委員会公印規則の一部の改正について
議案第 1 2 号	平成24年3月23日	津市教育委員会幼稚園則の一部の改正について
議案第 1 3 号	平成24年3月23日	就学等に関する規則の一部の改正について
議案第 1 4 号	平成24年3月23日	津市学校体育施設の開放に関する規則の一部の改正について
議案第 1 5 号	平成24年3月23日	「阿保家大砲関連資料並びに同鋳物師関連資料」の市指定文化財の指定について
議案第 1 6 号	平成24年3月23日	平成 2 4 年度津市学校教育推進計画（案）について
議案第 1 7 号	平成24年3月26日	人事について

4 平成23年度 教育委員の活動状況

(1) 教育委員会他 17回

(2) 議会定例会 4回

4月	教育委員会1回
5月	教育委員会1回
	教育委員会協議会1回
6月	教育委員会1回
	教育委員会協議会1回
	議会定例会
7月	教育委員会1回
8月	教育委員会1回
	教育委員会協議会1回
9月	教育委員会1回
	議会定例会
10月	教育委員会協議会1回
11月	教育委員会1回
12月	教育委員会報告会1回
	議会定例会
1月	教育委員会報告会1回
2月	教育委員会1回
3月	教育委員会3回
	議会定例会

5 主な出席行事

4月	三重県市町教育委員会連絡協議会総会
	東海北陸都市教育長協議会総会・研究大会
	入学(園)式
5月	全国都市教育長協議会総会・研究大会
5月～6月	学校・幼稚園視察
7月	「平成24年度教育予算等に関する要望書」に係る陳情
10月～11月	学校・幼稚園視察
11月	津市教育功労者表彰式
	三重の教育談義
	市町村教育委員会研究協議会
1月	平成24年成人式
3月	三重県都市教育長部会
	卒業(園)式
通年	市町等教育長会議
	各校研究発表会等
	運動会等の学校行事